

# 令和元年度来訪者管理モニタリング業務

## 実施報告書

令和2年3月

公益財団法人 日本交通公社



## < 目 次 >

1. はじめに	1
(1) 業務の目的	1
(2) 調査の概要	3
2. 2019年アンケート調査の結果	6
(1) 世界文化遺産としての富士山について	7
(2) 登山の状況について	8
(3) 富士登山を終えた感想	14
(4) 富士山保全協力金について	16
(5) 今回の登山概要	21
(6) 自由記述内容の整理	29
(7) 回答者属性	31
3. 富士山の適正な収容力及び来訪者管理等に係る分析・提案	33
(1) 指標・水準の達成状況の評価・検証	33
(2) 外国語調査の結果を反映した指標の検討	45
(3) アンケート調査手法の検討	51
(4) 指標・水準の達成状況を踏まえた対応策の検討	52
参考資料	53
I アンケート調査票	55
II アンケート調査結果データ（登山道・調査回別）	73
III アンケート調査結果データ（日本語／年代・登山日・混雑カレンダーの確認有無別）	133
IV アンケート調査結果データ（日本語／各設問における年代分析）	148
V アンケート調査結果データ（外国語／居住地（国内外）・国籍エリア別）	163
VI アンケート調査結果データ（外国語／国籍別）	174
VII アンケート調査結果データ（外国語／年代別）	185
VIII 調査風景	196



## 1. はじめに

### (1) 業務の背景・目的

- ・ 富士山は、日本文化の基層を成す名山として世界的に著名であり、秀麗な成層火山であるのみならず、信仰の対象と芸術の源泉としても顕著な普遍的な価値を持つことから、ICOMOS（国際記念物遺跡会議）の登録勧告を受ける形で、2013年、世界遺産に登録された。
- ・ ただし、ICOMOSの勧告には富士山の保全に関する勧告・要請事項が含まれており、静岡県・山梨県をはじめとする各関係者には、（安全で快適な）望ましい富士登山を実現するための来訪者管理戦略や、各構成資産の一体的な認知・理解向上のための戦略を含む「保全状況報告書」の提出が求められた。
- ・ こうした背景を受けて、静岡県・山梨県では2014年から富士登山における収容力の調査・研究を開始、調査・研究に必要なデータを取得するため、登山者アンケートをはじめとして、GPSロガーを活用した登山者動態把握調査や、定点撮影調査等の各種調査を実施してきた。
- ・ 本業務は、これまでの調査・研究結果を踏まえて設定された『望ましい富士登山の在り方』を実現するための指標・水準<sup>※1</sup>の進捗状況を平成30年度来訪者管理モニタリング業務の成果を踏まえ、測定・評価するとともに、本年度行う長期計画期間（2020～2024年）における指標・水準の設定に向けた論点整理及び提案を行うことを目的として実施する。

※1 次頁に「望ましい富士登山の在り方」の実現に向けた指標を掲載。

表 「望ましい富士登山の在り方」の実現に向けた指標

望ましい富士登山の在り方		指標	登山口	水準 (2019年の目標値)
視点	区分			
十七世紀以来の登拝に起源する登山の文化的 伝統の継承	頂上付近で御来光を拝む場合には、途中の山小屋で宿泊・休憩していること	伝統的な登拝の登山形態と同様に、山小屋で休息してから山頂で御来光を拝む登山者の割合	全体	80%以上
	特定された山麓の巡礼路・登山道からの登山が行われていること	古くからの巡礼路としてルートが特定されている吉田口登山道における山麓からの登山者の割合	吉田	15%以上
	山麓の神社・霊地等と登山道とのつながりが認知・理解されていること	山麓の神社や湖などを巡ったのちに富士登山をする文化的伝統を知っている登山者の割合	全体	50%以上
		富士山に「神聖さ」を感じた登山者の割合	全体	90%以上
登山道及び山頂付近の良 好な展望景観の維持	山小屋・防災関連の施設等の登山者のための施設が自然と調和していること	自然と調和しない人工構造物による登山道沿いの景観阻害	全体	非調和的要素が予見又は発見されない
	浸食・植生等の変化による展望景観への影響が抑制されていること	五合目以上における登山道の浸食や植生等の変化による展望景観の変化	全体	負の影響が予見又は確認されない
登山の安全性・快適性の確保	登山装備・登山マナー等が理解されていること	登山道や山頂付近でゴミをよく見かけた登山者の割合	全体	15%以下
		人的要因による文化財き損届の件数	全体	0件
	過剰な登山者数による混雑・危険・不満を感じない登山ができること	吉田口から登山し、誤って須走口に下山した人の割合（須走口五合目ガイド対応分）	吉田 須走	0.4%以下
		山小屋やトイレなどの登山者への支援施設に不満を感じた登山者の割合	全体	15%以下
		夏山期間を通じて著しい混雑が発生する登山者数/日*を超えた日数	吉田	3日以下
			富士宮	2日以下
			御殿場	—
須走	—			

## (2) 調査の概要

- 以下の内容で2種類 (a, b) のアンケート調査を実施した。

表 アンケート調査の実施概要

	a	b
調査対象	富士登山後の大人の「下山者」で「日本人」	富士登山後の大人の「登山者」で「外国人」
調査日時 <sup>※1</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 2019年 7月 24日 (水)</li> <li>② 2019年 7月 25日 (木)</li> <li>③ 2019年 8月 3日 (土)</li> <li>④ 2019年 8月 4日 (日)</li> <li>⑤ 2019年 8月 11日 (日)</li> <li>⑥ 2019年 8月 12日 (月・祝)</li> </ul>	各日 8:00~14:00 実施
調査場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 吉田口五合目</li> <li>・ 須走口五合目</li> <li>・ 御殿場口五合目</li> <li>・ 富士宮口五合目</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 吉田口五合目</li> <li>・ 富士宮口五合目</li> </ul>
調査手法	告知カードの配布によるモバイル自記式調査：回答者は渡された告知カード <sup>※2</sup> に記載されたQRコードの読み取り、またはウェブアドレスの直接入力により、自身のモバイル機器（スマホ、タブレット等）でアンケート特設サイトにアクセスして自身で回答内容を入力。希望する回答者に対して抽選で後日、特産品のセットを送付。	調査員による紙調査票聞き取り調査：回答者は調査員の依頼を受けて、紙調査票に直接記入、または調査員の聞き取り内容に応じて口頭で回答し調査員が回答内容を入力。回答者には御礼の絵葉書 <sup>※3</sup> を配布。
調査員	アンケート専門の調査員を配置して、告知カードを配布。	アンケート専門の調査員を配置して、下山者に対して紙調査票での回答を依頼。
対応言語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本語</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英語</li> <li>・ 繁体字</li> <li>・ 簡体字</li> </ul>
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 世界文化遺産としての富士山について</li> <li>・ 登山の状況について</li> <li>・ 富士登山を終えた感想</li> <li>・ 富士山保全協力金について</li> <li>・ 今回の登山概要について</li> <li>・ 混雑予想カレンダー及び混雑動画について</li> <li>・ 回答者属性</li> <li>・ 抽選への参加有無</li> </ul>	
回収数	1,493	584

表 回収数の調査場所・実施回別内訳

配布箇所		回収数				
		第1回	第2回	第3回	調査回不明	計
		①②	③④	⑤⑥		
日本語	吉田	153	184	238	0	575
	須走	16	84	63	0	163
	御殿場	45	102	89	0	236
	富士宮	92	174	253	0	519
	計	306	544	643	0	1493
外国語	吉田	169	101	121	0	391
	須走	-	-	-	-	-
	御殿場	-	-	-	-	-
	富士宮	45	48	100	0	193
	計	214	149	221	0	584

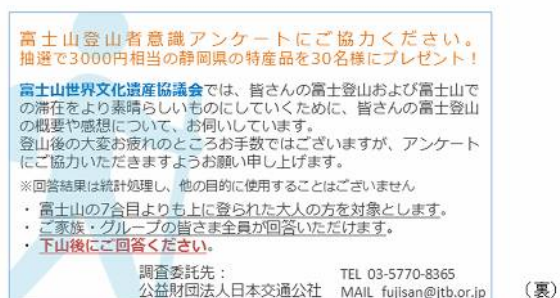
※1 調査 a における調査日時は、告知カードを配布した日時。アンケートの回答は告知カードを受け取った後、回答者の都合のよいタイミングで 24 時間いつでも回答可能とした（回答〆切：2019 年 8 月 31 日）。

※2 告知カードのイメージは以下の通り。

図 告知カード（富士宮口配布／日本語）



(表)



(裏)

名刺サイズ 91mm×55mm



※3 御礼の絵葉書のイメージは以下の通り。

図 絵葉書



(A)



(B)



オモテ面はAとBのチェンジング画像（角度によって画像が変わる）

## 2. 2019年アンケート調査の結果

- ・ 次頁以降に、2019年アンケート調査の結果を掲載する。
- ・ なお、参考として、各調査日および調査前日における、各登山道の日別登山者数と五合目天候について以下に示す。

表 調査日および調査前日における日別登山者数（人）と五合目天候

	日付	富士宮口	御殿場口	須走口	吉田口	合計
	7月23日（火） 五合目天候	435 曇り時々雨	367 曇り時々雨	100 雨時々曇り	1,846 曇り、雨	2,748 -
①	7月24日（水） 五合目天候	838 曇り時々晴れ	312 晴れのち曇り	220 晴れのち曇り時々雨	1,939 曇り、霧	3,309 -
②	7月25日（木） 五合目天候	1,343 晴れのち曇り	273 曇り	304 晴れ、雨のち曇り	2,652 晴れ時々曇り	4,572 -
	8月2日（金） 五合目天候	1,074 晴れのち曇り	188 晴れのち曇り	396 晴れ	2,774 曇り、霧のち晴れ	4,432 -
③	8月3日（土） 五合目天候	2,203 晴れ	360 晴れ	753 晴れ	4,538 晴れのち曇り	7,854 -
④	8月4日（日） 五合目天候	1,356 晴れ	791 晴れ	634 晴れ	3,028 晴れ	5,809 -
	8月10日（土） 五合目天候	1,633 晴れ	343 晴れのち曇り	675 晴れのち曇り	4,133 晴れのち曇り	6,784 -
⑤	8月11日（日） 五合目天候	2,272 晴れ	417 晴れ	1,021 晴れ時々曇り	5,033 晴れ時々曇り	8,743 -
⑥	8月12日（月・祝） 五合目天候	2,230 晴れ	313 曇り、晴れのち雨	651 晴れのち曇り	4,688 曇り時々晴れ	7,880 -

(1) 世界文化遺産としての富士山について

① 神聖性

- ・ 登山を通じて富士山に神聖性を「感じた／少し感じた」と回答した登山者は83.2%と、8割強の登山者が神聖性を何らかの形で感じている結果となった。なお登山道別には、回答率が高い順に須走口(86.5%)、富士宮口(84.7%)、吉田口(83.1%)、御殿場口(73.6%)となった。
- ・ なお、外国語調査では、「感じた／少し感じた」と回答した登山者が81.9%と同程度の回答結果となった。

表 神聖性を感じた登山者

神聖性	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
感じた	271	62	57	316	706	120	7	3	125	255
少し感じた	205	66	49	216	536	125	8	10	77	220
感じなかった	97	20	38	96	251	43	9	7	46	105
計	573	148	144	628	1493	288	24	20	248	580

神聖性	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
感じた	47.3%	41.9%	39.6%	50.3%	47.3%	41.7%	29.2%	15.0%	50.4%	44.0%
少し感じた	35.8%	44.6%	34.0%	34.4%	35.9%	43.4%	33.3%	50.0%	31.0%	37.9%
感じなかった	16.9%	13.5%	26.4%	15.3%	16.8%	14.9%	37.5%	35.0%	18.5%	18.1%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

② 文化的伝統

- ・ 富士登山における文化的伝統の認知について「以前から知っていた」と回答した登山者は32.2%、「今回の登山・訪問で知った」と回答した登山者は11.0%で、認知していない登山者が過半数を占める結果となった。登山道別には、富士宮口で「以前から知っていた」の割合がやや高い。
- ・ 外国語調査では、「以前から知っていた」割合は日本語調査よりも低いものの(21.3%)、「今回の登山で知った」と合わせると47.4%と、日本語調査(43.1%)と概ね同程度となった。

表 富士登山における文化的伝統の認知

文化的伝統	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
以前から知っていた	165	46	38	231	480	62	6	2	52	122
今回の登山・訪問で知った	82	10	14	58	164	71	5	6	68	150
知らなかった	326	92	92	339	849	153	13	12	124	302
計	573	148	144	628	1493	286	24	20	244	574

文化的伝統	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
以前から知っていた	28.8%	31.1%	26.4%	36.8%	32.2%	21.7%	25.0%	10.0%	21.3%	21.3%
今回の登山・訪問で知った	14.3%	6.8%	9.7%	9.2%	11.0%	24.8%	20.8%	30.0%	27.9%	26.1%
知らなかった	56.9%	62.2%	63.9%	54.0%	56.9%	53.5%	54.2%	60.0%	50.8%	52.6%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

## (2) 登山の状況について

### ① 登山時における混雑感

- ・ 登山時における各箇所の混雑感について、「とても混んでいた」と感じた人の割合は、登山道に対して 31.0%、山頂について 42.0%、トイレについて 14.6%、山小屋について 35.0%となった。山頂に対して混雑を感じた人が最も多く、次いで山小屋、登山道、トイレの順となっている。
- ・ 登山道別に見ると、いずれの箇所の混雑感についても「とても混んでいた」と感じた人の割合は吉田口でもっとも高く、山頂については次いで須走口、登山道、トイレ、山小屋については富士宮口が二番目となっている。山頂については、須走口は途中で吉田口と合流し、山頂は同じ場所となるため、吉田口と同様に混雑感が高まったことが考えられる。また、いずれの箇所の混雑感についても御殿場口の「とても混んでいた」の割合は最も低くなっている。
- ・ 外国語調査では、「とても混んでいた」と感じた人の割合は、登山道に対して 29.0%、山頂について 40.6%、トイレについて 16.3%、山小屋について 20.5%と、登山道、山頂、トイレでは概ね同程度の結果となり、山小屋に対して混雑感がやや低い結果となった。

表 登山時における混雑感

混雑感		日本語					外国語				
		登山道					登山道				
		吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
登山道	とても混んでいた	244	21	2	196	463	93	14	4	56	167
	やや混んでいた	211	43	19	235	508	108	3	5	93	209
	どちらでもない	49	16	10	50	125	56	4	3	64	127
	やや空いていた	51	29	38	88	206	18	3	3	24	48
	とても空いていた	17	39	75	58	189	11	0	5	7	23
	覚えていない・見ていない	1	0	0	1	2	0	0	0	1	1
	計	573	148	144	628	1493	284	24	20	245	575
山頂	とても混んでいた	284	67	33	243	627	129	9	9	81	228
	やや混んでいた	172	50	53	206	481	106	7	2	73	188
	どちらでもない	30	8	14	49	101	27	6	6	47	86
	やや空いていた	30	10	20	62	122	9	0	2	17	28
	とても空いていた	12	5	3	23	43	4	0	0	8	12
	覚えていない・見ていない	45	8	21	45	119	9	2	0	8	19
	計	573	148	144	628	1493	284	24	19	234	561
トイレ	とても混んでいた	109	15	11	83	218	47	3	6	37	93
	やや混んでいた	194	33	23	160	410	53	1	4	39	97
	どちらでもない	124	39	25	157	345	98	11	4	76	189
	やや空いていた	74	27	27	95	223	50	7	3	46	106
	とても空いていた	63	29	34	85	211	28	0	2	31	61
	覚えていない・見ていない	9	5	24	48	86	8	1	0	15	24
	計	573	148	144	628	1493	284	23	19	244	570
山小屋	とても混んでいた	229	41	22	230	522	64	4	4	43	115
	やや混んでいた	171	42	33	151	397	94	3	6	57	160
	どちらでもない	75	22	13	81	191	71	6	5	69	151
	やや空いていた	45	12	19	50	126	23	3	2	21	49
	とても空いていた	17	11	10	25	63	8	0	0	10	18
	覚えていない・見ていない	36	20	47	91	194	21	7	1	39	68
	計	573	148	144	628	1493	281	23	18	239	561

混雑感		日本語					外国語				
		登山道					登山道				
		吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
登山道	とても混んでいた	42.6%	14.2%	1.4%	31.2%	31.0%	32.5%	58.3%	20.0%	22.9%	29.0%
	やや混んでいた	36.8%	29.1%	13.2%	37.4%	34.0%	37.8%	12.5%	25.0%	38.0%	36.3%
	どちらでもない	8.6%	10.8%	6.9%	8.0%	8.4%	19.6%	16.7%	15.0%	26.1%	22.1%
	やや空いていた	8.9%	19.6%	26.4%	14.0%	13.8%	6.3%	12.5%	15.0%	9.8%	8.3%
	とても空いていた	3.0%	26.4%	52.1%	9.2%	12.7%	3.8%	0.0%	25.0%	2.9%	4.0%
	覚えていない・見ていない	0.2%	0.0%	0.0%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.2%
	計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
山頂	とても混んでいた	49.6%	45.3%	22.9%	38.7%	42.0%	45.4%	37.5%	47.4%	34.6%	40.6%
	やや混んでいた	30.0%	33.8%	36.8%	32.8%	32.2%	37.3%	29.2%	10.5%	31.2%	33.5%
	どちらでもない	5.2%	5.4%	9.7%	7.8%	6.8%	9.5%	25.0%	31.6%	20.1%	15.3%
	やや空いていた	5.2%	6.8%	13.9%	9.9%	8.2%	3.2%	0.0%	10.5%	7.3%	5.0%
	とても空いていた	2.1%	3.4%	2.1%	3.7%	2.9%	1.4%	0.0%	0.0%	3.4%	2.1%
	覚えていない・見ていない	7.9%	5.4%	14.6%	7.2%	8.0%	3.2%	8.3%	0.0%	3.4%	3.4%
	計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
トイレ	とても混んでいた	19.0%	10.1%	7.6%	13.2%	14.6%	16.5%	13.0%	31.6%	15.2%	16.3%
	やや混んでいた	33.9%	22.3%	16.0%	25.5%	27.5%	18.7%	4.3%	21.1%	16.0%	17.0%
	どちらでもない	21.6%	26.4%	17.4%	25.0%	23.1%	34.5%	47.8%	21.1%	31.1%	33.2%
	やや空いていた	12.9%	18.2%	18.8%	15.1%	14.9%	17.6%	30.4%	15.8%	18.9%	18.6%
	とても空いていた	11.0%	19.6%	23.6%	13.5%	14.1%	9.9%	0.0%	10.5%	12.7%	10.7%
	覚えていない・見ていない	1.6%	3.4%	16.7%	7.6%	5.8%	2.8%	4.3%	0.0%	6.1%	4.2%
	計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
山小屋	とても混んでいた	40.0%	27.7%	15.3%	36.6%	35.0%	22.8%	17.4%	22.2%	18.0%	20.5%
	やや混んでいた	29.8%	28.4%	22.9%	24.0%	26.6%	33.5%	13.0%	33.3%	23.8%	28.5%
	どちらでもない	13.1%	14.9%	9.0%	12.9%	12.8%	25.3%	26.1%	27.8%	28.9%	26.9%
	やや空いていた	7.9%	8.1%	13.2%	8.0%	8.4%	8.2%	13.0%	11.1%	8.8%	8.7%
	とても空いていた	3.0%	7.4%	6.9%	4.0%	4.2%	2.8%	0.0%	0.0%	4.2%	3.2%
	覚えていない・見ていない	6.3%	13.5%	32.6%	14.5%	13.0%	7.5%	30.4%	5.6%	16.3%	12.1%
	計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

## ② 登山時の混雑における許容度

- ・ 登山時における各箇所の混雑に対する許容度は、「許容できない」と感じた人の割合は、登山道に対して 6.5%、山頂について 6.3%、トイレについて 5.0%、山小屋について 11.2%となった。山小屋に対して許容できないと感じた人が最も多く、次いで登山道、山頂、トイレの順となっており、最も高い値となった対象箇所が混雑感とは山小屋と山頂で入れ替わっている。このことから、山頂は混雑していても許容できるものの、山小屋の混雑については許容できない人が多いことが分かる。
- ・ また、混雑感における「とても混んでいた」の割合と比較すると、いずれの箇所の「許容できない」と感じた人の割合も低い値に留まっており、混雑は感じているものの、許容できないほどではないといった回答傾向が見られる。
- ・ 登山道別に見ると、登山道、山頂、トイレ、山小屋のいずれにおいても吉田口で「許容できない」の割合が最も高くなっている。
- ・ 外国語調査では、「許容できない」と感じた人の割合が、登山道に対して 10.3%、山頂について 7.7%、トイレについて 5.7%、山小屋について 7.2%となっており、日本語調査と比較すると、登山道で「許容できない」割合がやや高く、山小屋では「許容できない」割合がやや低くなっている。

表 登山時の混雑における許容度

許容度		日本語					外国語				
		登山道					登山道				
		吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
登山道	許容できない	48	8	0	41	97	27	3	2	27	59
	あまり許容できない	159	23	5	131	318	46	5	2	36	89
	どちらでもない	47	9	6	62	124	68	6	4	47	125
	やや許容できる	118	30	15	126	289	59	3	4	44	110
	許容できる	199	78	118	267	662	87	5	8	89	189
	わからない・見ていない	2	0	0	1	3	0	0	0	3	3
	計	573	148	144	628	1493	287	22	20	246	575
山頂	許容できない	44	10	6	34	94	21	1	2	19	43
	あまり許容できない	132	35	20	101	288	44	5	2	30	81
	どちらでもない	62	11	11	78	162	63	8	4	46	121
	やや許容できる	116	37	28	134	315	63	1	3	55	122
	許容できる	174	47	59	237	517	81	5	8	78	172
	わからない・見ていない	45	8	20	44	117	9	2	0	7	18
	計	573	148	144	628	1493	281	22	19	235	557
トイレ	許容できない	36	4	5	29	74	13	1	1	17	32
	あまり許容できない	86	13	13	70	182	29	0	3	23	55
	どちらでもない	94	25	17	111	247	63	8	7	52	130
	やや許容できる	100	27	19	93	239	59	3	2	46	110
	許容できる	249	76	69	286	680	112	9	5	87	213
	わからない・見ていない	8	3	21	39	71	6	1	1	14	22
	計	573	148	144	628	1493	282	22	19	239	562
山小屋	許容できない	79	11	6	71	167	17	2	2	19	40
	あまり許容できない	103	25	14	96	238	33	2	1	18	54
	どちらでもない	81	22	17	94	214	68	4	7	48	127
	やや許容できる	103	22	17	87	229	64	5	2	59	130
	許容できる	174	49	42	191	456	84	3	6	67	160
	わからない・見ていない	33	19	48	89	189	17	5	1	25	48
	計	573	148	144	628	1493	283	21	19	236	559

許容度		日本語					外国語				
		登山道					登山道				
		吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
登山道	許容できない	8.4%	5.4%	0.0%	6.5%	6.5%	9.4%	13.6%	10.0%	11.0%	10.3%
	あまり許容できない	27.7%	15.5%	3.5%	20.9%	21.3%	16.0%	22.7%	10.0%	14.6%	15.5%
	どちらでもない	8.2%	6.1%	4.2%	9.9%	8.3%	23.7%	27.3%	20.0%	19.1%	21.7%
	やや許容できる	20.6%	20.3%	10.4%	20.1%	19.4%	20.6%	13.6%	20.0%	17.9%	19.1%
	許容できる	34.7%	52.7%	81.9%	42.5%	44.3%	30.3%	22.7%	40.0%	36.2%	32.9%
	わからない・見ていない	0.3%	0.0%	0.0%	0.2%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	0.5%
	計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
山頂	許容できない	7.7%	6.8%	4.2%	5.4%	6.3%	7.5%	4.5%	10.5%	8.1%	7.7%
	あまり許容できない	23.0%	23.6%	13.9%	16.1%	19.3%	15.7%	22.7%	10.5%	12.8%	14.5%
	どちらでもない	10.8%	7.4%	7.6%	12.4%	10.9%	22.4%	36.4%	21.1%	19.6%	21.7%
	やや許容できる	20.2%	25.0%	19.4%	21.3%	21.1%	22.4%	4.5%	15.8%	23.4%	21.9%
	許容できる	30.4%	31.8%	41.0%	37.7%	34.6%	28.8%	22.7%	42.1%	33.2%	30.9%
	わからない・見ていない	7.9%	5.4%	13.9%	7.0%	7.8%	3.2%	9.1%	0.0%	3.0%	3.2%
	計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
トイレ	許容できない	6.3%	2.7%	3.5%	4.6%	5.0%	4.6%	4.5%	5.3%	7.1%	5.7%
	あまり許容できない	15.0%	8.8%	9.0%	11.1%	12.2%	10.3%	0.0%	15.8%	9.6%	9.8%
	どちらでもない	16.4%	16.9%	11.8%	17.7%	16.5%	22.3%	36.4%	36.8%	21.8%	23.1%
	やや許容できる	17.5%	18.2%	13.2%	14.8%	16.0%	20.9%	13.6%	10.5%	19.2%	19.6%
	許容できる	43.5%	51.4%	47.9%	45.5%	45.5%	39.7%	40.9%	26.3%	36.4%	37.9%
	わからない・見ていない	1.4%	2.0%	14.6%	6.2%	4.8%	2.1%	4.5%	5.3%	5.9%	3.9%
	計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
山小屋	許容できない	13.8%	7.4%	4.2%	11.3%	11.2%	6.0%	9.5%	10.5%	8.1%	7.2%
	あまり許容できない	18.0%	16.9%	9.7%	15.3%	15.9%	11.7%	9.5%	5.3%	7.6%	9.7%
	どちらでもない	14.1%	14.9%	11.8%	15.0%	14.3%	24.0%	19.0%	36.8%	20.3%	22.7%
	やや許容できる	18.0%	14.9%	11.8%	13.9%	15.3%	22.6%	23.8%	10.5%	25.0%	23.3%
	許容できる	30.4%	33.1%	29.2%	30.4%	30.5%	29.7%	14.3%	31.6%	28.4%	28.6%
	わからない・見ていない	5.8%	12.8%	33.3%	14.2%	12.7%	6.0%	23.8%	5.3%	10.6%	8.6%
	計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

### ③ 登山時における危険事象（複数回答）

- ・ 登山時に感じた危険事象については、「危険はなかった」と回答した登山者が約半数で51.9%となった。一方で感じた危険の内容としては「無理な追い越し」が最も多く20.9%、次いで「登山者と下山者のすれ違い」15.7%、「登山道の侵食・破損」13.7%、「その他」11.9%の順となっていた。
- ・ 危険なことはなかったと回答した約半数ということで、逆に何らかの危険を感じた登山者も約半数いた結果となっている。
- ・ 登山道別には、「危険はなかった」とした回答者が最も多かったのは御殿場口で65.3%、「無理な追い越し」による危険が最も多かったのは吉田口で26.0%、「登山者と下山者のすれ違い」による危険が最も多かったのは富士宮口で24.2%、「登山道の侵食・破損」による危険が最も多かったのは富士宮口で16.1%となっている。
- ・ 外国語調査では、「危険はなかった」とした回答が62.3%となり、日本語調査（51.9%）と比較して危険を感じなかった登山者が多い結果となった。特に、「無理な追い越し」と「登山者と下山者のすれ違い」による危険について、日本語調査よりも回答割合が低くなっている。

表 登山時における危険事象

危険事象	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
危険だと感じたことはなかった	313	83	94	285	775	188	16	16	144	364
登山道の侵食・破損	63	20	21	101	205	30	1	2	53	86
無理な追い越し	149	23	9	131	312	27	1	2	23	53
登山者と下山者のすれ違い	55	11	16	152	234	13	2	1	16	32
その他	56	23	16	82	177	21	3	1	14	39
計	573	148	144	628	1493	291	24	20	249	584

危険事象	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
危険だと感じたことはなかった	54.6%	56.1%	65.3%	45.4%	51.9%	64.6%	66.7%	80.0%	57.8%	62.3%
登山道の侵食・破損	11.0%	13.5%	14.6%	16.1%	13.7%	10.3%	4.2%	10.0%	21.3%	14.7%
無理な追い越し	26.0%	15.5%	6.3%	20.9%	20.9%	9.3%	4.2%	10.0%	9.2%	9.1%
登山者と下山者のすれ違い	9.6%	7.4%	11.1%	24.2%	15.7%	4.5%	8.3%	5.0%	6.4%	5.5%
その他	9.8%	15.5%	11.1%	13.1%	11.9%	7.2%	12.5%	5.0%	5.6%	6.7%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



#### ④ 登山時に見かけたゴミ

- ・ 登山時に見かけたゴミについて、「よく見かけた」と回答した登山者は22.4%、「あまり見かけなかった」と回答した登山者は49.1%と、約7割の登山者が何らかの形で登山時にゴミを見かけていた結果となった。
- ・ 登山道別には、「よく見かけた」割合が最も高かったのは吉田口で27.1%、次いで須走口20.3%、富士宮口19.7%、御殿場口17.4%となった。「よく見かけた」と「あまり見かけなかった」を合わせた割合だと、吉田口78.0%、須走口78.4%、御殿場口63.9%、富士宮口65.6%と、ゴミを登山時に見かけなかった割合は御殿場口が最も高い結果となった。
- ・ 外国語調査では、「よく見かけた」割合が7.3%と日本語調査（22.4%）よりも大幅に低い結果となった。「よく見かけた」と「あまり見かけなかった」を合わせた割合でも60.7%となり、71.5%であった日本語調査よりも低い値となっている。

表 登山時に見かけたゴミ

登山道沿いのゴミ	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
よく見かけた	155	30	25	124	334	18	1	1	22	42
あまり見かけなかった	292	86	67	288	733	152	11	9	136	308
見かけなかった	126	32	52	216	426	117	12	10	88	227
計	573	148	144	628	1493	287	24	20	246	577

登山道沿いのゴミ	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
よく見かけた	27.1%	20.3%	17.4%	19.7%	22.4%	6.3%	4.2%	5.0%	8.9%	7.3%
あまり見かけなかった	51.0%	58.1%	46.5%	45.9%	49.1%	53.0%	45.8%	45.0%	55.3%	53.4%
見かけなかった	22.0%	21.6%	36.1%	34.4%	28.5%	40.8%	50.0%	50.0%	35.8%	39.3%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

### (3) 富士登山を終えた感想

#### ① 登山の満足度

- ・ 富士登山を終えての満足度について、登山時の各場面別に尋ねたところ、「とても満足」と回答した登山者の割合は、富士登山全体に対して 53.9%、御来光の景色に対して 74.1%、山小屋のサービス・雰囲気に対して 18.7%、トイレの数や設備の状態に対して 14.9%となった。この結果からは、満足度が最も高いのは御来光の景色、満足度が低いのはトイレの数や設備の状態ということが分かる。
- ・ 一方、「とても不満」と「やや不満」を合わせた割合で見ると、富士登山全体に対して何らかの不満があったのは 3.5%、御来光の景色に対して 1.5%、山小屋のサービス・雰囲気に対して 17.4%、トイレの数や設備の状態に対して 20.5%と、富士登山全体と御来光の景色に対して不満を感じていた人が少ない一方で、山小屋とトイレに対しては 2 割前後の登山者が何らかの不満を感じている結果となった。
- ・ 登山道別に見てみると、富士登山全体で「とても満足」が多いのは須走口で 55.4%、御来光の景色は吉田口で 83.1%、山小屋のサービス・雰囲気は吉田口で 21.6%、トイレの数や設備の状態は富士宮口で 16.4%となった。一方、「とても不満」と「やや不満」の合算値で見ると、富士登山全体は御殿場口で 4.9%、御来光の景色は御殿場口で 2.8%、山小屋のサービス・雰囲気は富士宮口で 18.8%、トイレの数や設備の状態は御殿場口で 23.6%となった。
- ・ 外国語調査では、「とても満足」の割合が各場面で日本語調査よりも高い値となっており、一方、「とても不満」と「やや不満」を合わせた割合はいずれも低い値を取っており、全体を通して、満足度が高い結果となっている。

表 登山の満足度

満足度		日本語					外国語				
		登山道					登山道				
		吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
富士登山全体	とても満足	317	82	70	336	805	150	15	13	139	317
	やや満足	206	54	55	224	539	102	7	6	71	186
	ふつう	25	10	11	48	94	25	2	1	18	46
	やや不満	16	2	3	12	33	3	0	0	5	8
	とても不満	9	0	4	7	20	2	0	0	1	3
	分からない・当てはまらない	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0
	計	573	148	144	628	1493	282	24	20	234	560
御来光の景色	とても満足	476	112	80	438	1106	227	22	15	180	444
	やや満足	74	19	28	114	235	39	1	2	38	80
	ふつう	9	6	14	29	58	15	0	3	12	30
	やや不満	4	1	2	7	14	0	0	0	0	0
	とても不満	3	0	2	4	9	1	1	0	1	3
	分からない・当てはまらない	7	10	18	36	71	0	0	0	4	4
	計	573	148	144	628	1493	282	24	20	235	561
山小屋のサービス・雰囲気	とても満足	124	21	22	112	279	63	6	5	56	130
	やや満足	142	40	32	148	362	91	7	2	69	169
	ふつう	164	41	26	153	384	83	4	9	62	158
	やや不満	71	13	10	71	165	25	6	1	26	58
	とても不満	35	11	2	47	95	15	1	2	19	37
	分からない・当てはまらない	37	22	52	97	208	2	0	0	3	5
	計	573	148	144	628	1493	279	24	19	235	557
トイレの数や設備の状態	とても満足	84	17	18	103	222	73	6	6	68	153
	やや満足	182	43	16	148	389	103	9	5	73	190
	ふつう	195	57	57	205	514	51	3	6	48	108
	やや不満	78	22	25	84	209	23	1	0	14	38
	とても不満	26	5	9	57	97	11	0	0	9	20
	分からない・当てはまらない	8	4	19	31	62	18	4	2	17	41
	計	573	148	144	628	1493	279	23	19	229	550

満足度		日本語					外国語				
		登山道					登山道				
		吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
富士登山全体	とても満足	55.3%	55.4%	48.6%	53.5%	53.9%	53.2%	62.5%	65.0%	59.4%	56.6%
	やや満足	36.0%	36.5%	38.2%	35.7%	36.1%	36.2%	29.2%	30.0%	30.3%	33.2%
	ふつう	4.4%	6.8%	7.6%	7.6%	6.3%	8.9%	8.3%	5.0%	7.7%	8.2%
	やや不満	2.8%	1.4%	2.1%	1.9%	2.2%	1.1%	0.0%	0.0%	2.1%	1.4%
	とても不満	1.6%	0.0%	2.8%	1.1%	1.3%	0.7%	0.0%	0.0%	0.4%	0.5%
	分からない・当てはまらない	0.0%	0.0%	0.7%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
御来光の景色	とても満足	83.1%	75.7%	55.6%	69.7%	74.1%	80.5%	91.7%	75.0%	76.6%	79.1%
	やや満足	12.9%	12.8%	19.4%	18.2%	15.7%	13.8%	4.2%	10.0%	16.2%	14.3%
	ふつう	1.6%	4.1%	9.7%	4.6%	3.9%	5.3%	0.0%	15.0%	5.1%	5.3%
	やや不満	0.7%	0.7%	1.4%	1.1%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	とても不満	0.5%	0.0%	1.4%	0.6%	0.6%	0.4%	4.2%	0.0%	0.4%	0.5%
	分からない・当てはまらない	1.2%	6.8%	12.5%	5.7%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	0.7%
	計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
山小屋のサービス・雰囲気	とても満足	21.6%	14.2%	15.3%	17.8%	18.7%	22.6%	25.0%	26.3%	23.8%	23.3%
	やや満足	24.8%	27.0%	22.2%	23.6%	24.2%	32.6%	29.2%	10.5%	29.4%	30.3%
	ふつう	28.6%	27.7%	18.1%	24.4%	25.7%	29.7%	16.7%	47.4%	26.4%	28.4%
	やや不満	12.4%	8.8%	6.9%	11.3%	11.1%	9.0%	25.0%	5.3%	11.1%	10.4%
	とても不満	6.1%	7.4%	1.4%	7.5%	6.4%	5.4%	4.2%	10.5%	8.1%	6.6%
	分からない・当てはまらない	6.5%	14.9%	36.1%	15.4%	13.9%	0.7%	0.0%	0.0%	1.3%	0.9%
	計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
トイレの数や設備の状態	とても満足	14.7%	11.5%	12.5%	16.4%	14.9%	26.2%	26.1%	31.6%	29.7%	27.8%
	やや満足	31.8%	29.1%	11.1%	23.6%	26.1%	36.9%	39.1%	26.3%	31.9%	34.5%
	ふつう	34.0%	38.5%	39.6%	32.6%	34.4%	18.3%	13.0%	31.6%	21.0%	19.6%
	やや不満	13.6%	14.9%	17.4%	13.4%	14.0%	8.2%	4.3%	0.0%	6.1%	6.9%
	とても不満	4.5%	3.4%	6.3%	9.1%	6.5%	3.9%	0.0%	0.0%	3.9%	3.6%
	分からない・当てはまらない	1.4%	2.7%	13.2%	4.9%	4.2%	6.5%	17.4%	10.5%	7.4%	7.5%
	計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

#### (4) 富士山保全協力金について

##### ① 協力金の支払有無

- ・ 富士山保全協力金について、「支払った(支払う)」と回答した登山者は、全体の81.9%となった。ただしこの値は、実際に富士登山を行った登山者全体に対する推計値ではなく、アンケート調査に今回協力した登山者における協力金の支払割合である点に留意する必要がある。
- ・ 登山道別には、須走口の回答者が最も協力率が高く90.5%、次いで吉田口87.4%、富士宮口79.5%、御殿場口61.8%の順となっていた。
- ・ 外国語調査も、日本語調査と同様、登山者全体における支払割合とアンケート協力者の支払割合は乖離している可能性がある点に留意する必要があるが、「支払った(支払う)」と回答した登山者は55.7%と、日本語調査よりもかなり低い結果となった。

表 協力金の支払有無

協力金	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
支払った(支払う)	501	134	89	499	1223	151	12	10	123	296
支払わなかった(支払わない)	72	14	55	129	270	112	12	10	101	235
計	573	148	144	628	1493	263	24	20	224	531

協力金	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
支払った(支払う)	87.4%	90.5%	61.8%	79.5%	81.9%	57.4%	50.0%	50.0%	54.9%	55.7%
支払わなかった(支払わない)	12.6%	9.5%	38.2%	20.5%	18.1%	42.6%	50.0%	50.0%	45.1%	44.3%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

## ② 協力金の支払に対する改善事項

- ・ 協力金への協力者に対して、協力金の協力率をさらに高めるために重要なことを尋ねたところ、「目的・使途を明確にする」と回答した登山者が最も多く 57.7%、次いで「協力金にトイレチップの価格を含める」と回答した登山者が 40.9%となった。「金額を安くする」とした回答は 16.0%、「現金以外で払えるようにする」とした回答は 23.9%に留まった。
- ・ 一方、協力金への非協力者に対して同様の質問をしたところ、上位 2 つは「トイレチップを含める」(34.1%)、「目的・使途を明確にする」(33.0%) で同じだったものの、協力者と比較すると選択率が低くなっている。

表 協力金の支払に対する改善事項・支払った人

制度の改善方法	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
もっと金額が低ければ支払う	84	22	9	81	196	-	-	-	-	-
目的や使い道が納得でき、明確な収支報告があれば支払う	297	74	54	281	706	-	-	-	-	-
協力金にトイレチップを含むようにすれば支払う	207	57	40	196	500	-	-	-	-	-
現金以外（クレジットカード等）でも受け付けてもらえば支払う	118	34	23	117	292	-	-	-	-	-
どのように変わっても支払わない	9	5	2	12	28	-	-	-	-	-
その他	95	26	19	110	250	-	-	-	-	-
計	501	134	89	499	1223	-	-	-	-	-

制度の改善方法	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
もっと金額が低ければ支払う	16.8%	16.4%	10.1%	16.2%	16.0%	-	-	-	-	-
目的や使い道が納得でき、明確な収支報告があれば支払う	59.3%	55.2%	60.7%	56.3%	57.7%	-	-	-	-	-
協力金にトイレチップを含むようにすれば支払う	41.3%	42.5%	44.9%	39.3%	40.9%	-	-	-	-	-
現金以外（クレジットカード等）でも受け付けてもらえば支払う	23.6%	25.4%	25.8%	23.4%	23.9%	-	-	-	-	-
どのように変わっても支払わない	1.8%	3.7%	2.2%	2.4%	2.3%	-	-	-	-	-
その他	19.0%	19.4%	21.3%	22.0%	20.4%	-	-	-	-	-
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	-	-	-	-

表 協力金の支払に対する改善事項・支払っていない人

制度の改善方法	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
もっと金額が低ければ支払う	15	5	5	23	48	-	-	-	-	-
目的や使い道が納得でき、明確な収支報告があれば支払う	30	5	12	42	89	-	-	-	-	-
協力金にトイレチップを含むようにすれば支払う	26	3	11	52	92	-	-	-	-	-
現金以外（クレジットカード等）でも受け付けてもらえば支払う	13	3	3	10	29	-	-	-	-	-
どのように変わっても支払わない	2	0	3	2	7	-	-	-	-	-
その他	13	5	36	47	101	-	-	-	-	-
計	72	14	55	129	270	-	-	-	-	-

制度の改善方法	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
もっと金額が低ければ支払う	20.8%	35.7%	9.1%	17.8%	17.8%	-	-	-	-	-
目的や使い道が納得でき、明確な収支報告があれば支払う	41.7%	35.7%	21.8%	32.6%	33.0%	-	-	-	-	-
協力金にトイレチップを含むようにすれば支払う	36.1%	21.4%	20.0%	40.3%	34.1%	-	-	-	-	-
現金以外（クレジットカード等）でも受け付けてもらえば支払う	18.1%	21.4%	5.5%	7.8%	10.7%	-	-	-	-	-
どのように変わっても支払わない	2.8%	0.0%	5.5%	1.6%	2.6%	-	-	-	-	-
その他	18.1%	35.7%	65.5%	36.4%	37.4%	-	-	-	-	-
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	-	-	-	-

### ③ 協力金の使途

- ・ 富士山保全協力金の使途として望むこととしては、「登山道の点検・維持補修」が最も選択率が高く75.5%、次いで「公衆トイレの整備・維持管理」が73.4%と、設備・インフラ面での整備に協力金を使うことを望む声が多くなった。
- ・ 次いで多かったのは「ごみ処理などの美化清掃活動の強化」の56.9%で、ここまでが選択率が5割を超える項目となっている。他は、「山小屋の噴火対策などの備品や施設整備」29.1%、「医師・看護師による救護所の運営」26.1%、「登山情報・混雑情報等の提供」23.3%となっている。
- ・ 登山道別には、上記の傾向において大きな違いはない。

表 協力金の使途

協力金の使い道	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
ごみ処理などの美化清掃活動の強化	354	88	79	328	849	-	-	-	-	-
公衆トイレの整備・維持管理	435	106	97	458	1096	-	-	-	-	-
医師・看護師による救護所の運営	182	32	21	154	389	-	-	-	-	-
安全確保のための誘導員の増員	141	24	14	113	292	-	-	-	-	-
登山道の点検・維持補修（標識整備含む）	425	114	104	484	1127	-	-	-	-	-
山小屋の噴火対策などの備品や施設整備	185	37	40	172	434	-	-	-	-	-
登山情報・混雑情報等の提供	135	32	33	148	348	-	-	-	-	-
富士山の文化の紹介や普及啓発活動の実施	118	21	28	102	269	-	-	-	-	-
その他	14	5	5	17	41	-	-	-	-	-
計	573	148	144	628	1493	-	-	-	-	-

協力金の使い道	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
ごみ処理などの美化清掃活動の強化	61.8%	59.5%	54.9%	52.2%	56.9%	-	-	-	-	-
公衆トイレの整備・維持管理	75.9%	71.6%	67.4%	72.9%	73.4%	-	-	-	-	-
医師・看護師による救護所の運営	31.8%	21.6%	14.6%	24.5%	26.1%	-	-	-	-	-
安全確保のための誘導員の増員	24.6%	16.2%	9.7%	18.0%	19.6%	-	-	-	-	-
登山道の点検・維持補修（標識整備含む）	74.2%	77.0%	72.2%	77.1%	75.5%	-	-	-	-	-
山小屋の噴火対策などの備品や施設整備	32.3%	25.0%	27.8%	27.4%	29.1%	-	-	-	-	-
登山情報・混雑情報等の提供	23.6%	21.6%	22.9%	23.6%	23.3%	-	-	-	-	-
富士山の文化の紹介や普及啓発活動の実施	20.6%	14.2%	19.4%	16.2%	18.0%	-	-	-	-	-
その他	2.4%	3.4%	3.5%	2.7%	2.7%	-	-	-	-	-
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	-	-	-	-

#### ④ 協力金の支払限度額

- ・ 富士山保全協力金に対する支払限度額は、現在の「基本」の金額となっている「1000円まで」とした回答が最も多く55.1%で約半数を占めた。
- ・ 次いで多く上がった金額は「2000円まで」で23.8%、他「500円まで」が11.4%、「5000円まで」が6.5%となった。
- ・ 登山道別には、上記の傾向において大きな違いはない。

表 協力金の支払限度額

協力金の支払金額	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
500円まで	57	19	16	78	170	-	-	-	-	-
1000円まで	293	92	86	352	823	-	-	-	-	-
2000円まで	165	27	28	136	356	-	-	-	-	-
5000円まで	44	9	5	39	97	-	-	-	-	-
7000円まで	2	0	0	0	2	-	-	-	-	-
10000円まで	6	0	5	8	19	-	-	-	-	-
10000円超でもよい	5	0	0	10	15	-	-	-	-	-
支払いたくない	1	1	4	5	11	-	-	-	-	-
計	573	148	144	628	1493	-	-	-	-	-

協力金の支払金額	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
500円まで	9.9%	12.8%	11.1%	12.4%	11.4%	-	-	-	-	-
1000円まで	51.1%	62.2%	59.7%	56.1%	55.1%	-	-	-	-	-
2000円まで	28.8%	18.2%	19.4%	21.7%	23.8%	-	-	-	-	-
5000円まで	7.7%	6.1%	3.5%	6.2%	6.5%	-	-	-	-	-
7000円まで	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	-	-	-	-	-
10000円まで	1.0%	0.0%	3.5%	1.3%	1.3%	-	-	-	-	-
10000円超でもよい	0.9%	0.0%	0.0%	1.6%	1.0%	-	-	-	-	-
支払いたくない	0.2%	0.7%	2.8%	0.8%	0.7%	-	-	-	-	-
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	-	-	-	-

### ⑤ 協力金の支払者

- ・ 富士山保全協力金の支払者は、「原則として登山者全員が支払う」とした回答が 80.6%、現行の「賛同する人だけが支払う」は 19.4%となった。
- ・ 登山道別では、「賛同する人だけが支払う」とした回答が比較的多かったのが御殿場口で 23.6%、次いで須走口で 21.6%。逆に「原則として登山者全員が支払う」とした回答が比較的多かったのは吉田 82.2%、富士宮口 80.7%となった。

表 協力金の支払者

協力金の支払い方法	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
現在の協力金制度のように、制度に賛同する人だけが支払う	102	32	34	121	289	-	-	-	-	-
原則として登山者全員が支払う	471	116	110	507	1204	-	-	-	-	-
計	573	148	144	628	1493	-	-	-	-	-

協力金の支払い方法	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
現在の協力金制度のように、制度に賛同する人だけが支払う	17.8%	21.6%	23.6%	19.3%	19.4%	-	-	-	-	-
原則として登山者全員が支払う	82.2%	78.4%	76.4%	80.7%	80.6%	-	-	-	-	-
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	-	-	-	-



## (5) 今回の登山概要

### ① 登山開始日

- ・ 登山開始日は、「下山日の前日」とした回答が最も多く **82.9%** となった。ただしこの値は、富士登山者全体における登山開始日の推計値ではなく、8:30～14:00 に実施したアンケート調査の協力者における登山開始日のデータであることに留意する必要がある。
- ・ 登山道別には、御殿場口における「下山日の当日」とした回答が比較的高く、**36.1%** となっている（登山道全体では **6.9%**）。

表 登山開始日

登山開始日	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
下山日の前々日	73	3	3	25	104	7	1	0	9	17
下山日の前日	486	124	87	541	1238	253	21	19	201	494
下山日の当日	12	20	52	60	144	11	2	1	17	31
その他	2	1	2	2	7	4	0	0	3	7
計	573	148	144	628	1493	275	24	20	230	549

登山開始日	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
下山日の前々日	12.7%	2.0%	2.1%	4.0%	7.0%	2.5%	4.2%	0.0%	3.9%	3.1%
下山日の前日	84.8%	83.8%	60.4%	86.1%	82.9%	92.0%	87.5%	95.0%	87.4%	90.0%
下山日の当日	2.1%	13.5%	36.1%	9.6%	9.6%	4.0%	8.3%	5.0%	7.4%	5.6%
その他	0.3%	0.7%	1.4%	0.3%	0.5%	1.5%	0.0%	0.0%	1.3%	1.3%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

### ② 山小屋への宿泊

- ・ 山小屋への宿泊割合は、「宿泊した（あり）」が **71.3%**、「宿泊していない（なし）」が **28.7%** となった。ただし、前頁の登山開始日と同様、富士登山者全体における宿泊割合の推計値ではなく、アンケート調査の協力者における山小屋の宿泊割合のデータであることに留意する必要がある。
- ・ 登山道別には、御殿場口の宿泊割合が比較的低く「宿泊していない（なし）」が **66.0%** と約 3 分の 2 を占める結果となった。

表 山小屋への宿泊

山小屋への宿泊	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
あり	493	91	49	431	1064	197	12	8	137	354
なし	80	57	95	197	429	84	12	12	96	204
計	573	148	144	628	1493	281	24	20	233	558

山小屋への宿泊	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
あり	86.0%	61.5%	34.0%	68.6%	71.3%	70.1%	50.0%	40.0%	58.8%	63.4%
なし	14.0%	38.5%	66.0%	31.4%	28.7%	29.9%	50.0%	60.0%	41.2%	36.6%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

### ③ 山頂への到達

- ・ 山頂への到達割合は、「到達した（あり）」が 89.4%、「到達していない（なし）」が 10.6%となり、9 割弱の登山者が山頂まで到達している結果となり、外国語調査でも概ね同じ結果となった。
- ・ 登山道別には、須走口が最も「到達した（あり）」の割合が高く 92.6%、次いで富士宮口 90.4%、吉田口 89.0%、最も割合が低いのが御殿場口で 82.6%となった。

表 山頂への到達

山頂への到達	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
あり	510	137	119	568	1334	244	21	17	205	487
なし	63	11	25	60	159	29	3	2	23	57
計	573	148	144	628	1493	273	24	19	228	544

山頂への到達	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
あり	89.0%	92.6%	82.6%	90.4%	89.4%	89.4%	87.5%	89.5%	89.9%	89.5%
なし	11.0%	7.4%	17.4%	9.6%	10.6%	10.6%	12.5%	10.5%	10.1%	10.5%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

### ④ 引き返した場所（山頂に到達しなかった人のみ）

- ・ 山頂に到達しなかった人が引き返した場所として、最も多かったのは「8 合目付近」で 50.9%、次いで「7 合目付近」22.6%、「9 合目付近」10.7%となった。
- ・ 登山道別にやや傾向が異なり、吉田口は「8 合目付近」が最も多く 69.8%、須走口は「7 合目付近」と「8 合目付近」が同じく 45.5%、御殿場口は「7 合目付近」が最も多く 48.0%、富士宮口は「8 合目付近」が最も多く 46.7%となった。

表 引き返した場所

引き返した場所	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
6合目付近	3	0	7	1	11	0	0	0	0	0
7合目付近	7	5	12	12	36	2	0	1	4	7
8合目付近	44	5	4	28	81	18	2	1	9	30
9合目付近	6	1	0	10	17	7	1	0	3	11
山頂直下	1	0	1	3	5	0	0	0	2	2
その他	2	0	1	6	9	0	0	0	3	3
計	63	11	25	60	159	27	3	2	21	53

引き返した場所	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
6合目付近	4.8%	0.0%	28.0%	1.7%	6.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7合目付近	11.1%	45.5%	48.0%	20.0%	22.6%	7.4%	0.0%	50.0%	19.0%	13.2%
8合目付近	69.8%	45.5%	16.0%	46.7%	50.9%	66.7%	66.7%	50.0%	42.9%	56.6%
9合目付近	9.5%	9.1%	0.0%	16.7%	10.7%	25.9%	33.3%	0.0%	14.3%	20.8%
山頂直下	1.6%	0.0%	4.0%	5.0%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	9.5%	3.8%
その他	3.2%	0.0%	4.0%	10.0%	5.7%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	5.7%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑤ 引き返した理由（山頂に到達しなかった人のみ）

- ・ 山頂に到達せず引き返した理由としては、「自身の体調不良・高山病」が最も多く 39.6%、次いで、「自身の体力不足」と「同行者の体調不良・高山病」が並んで 23.3%となった。

表 引き返した理由

引き返した理由	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
天候不良	1	0	0	0	1	1	0	0	2	3
自身の体力不足	15	2	5	15	37	8	3	1	4	16
自身の体調不良・高山病	28	7	8	20	63	11	0	1	3	15
同行者の体力不足	8	0	2	10	20	2	0	0	1	3
同行者の体調不良・高山病	18	4	0	15	37	1	0	0	2	3
その他	6	1	12	11	30	0	0	0	1	1
計	63	11	25	60	159	23	3	2	13	41

引き返した理由	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
天候不良	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	4.3%	0.0%	0.0%	15.4%	7.3%
自身の体力不足	23.8%	18.2%	20.0%	25.0%	23.3%	34.8%	100.0%	50.0%	30.8%	39.0%
自身の体調不良・高山病	44.4%	63.6%	32.0%	33.3%	39.6%	47.8%	0.0%	50.0%	23.1%	36.6%
同行者の体力不足	12.7%	0.0%	8.0%	16.7%	12.6%	8.7%	0.0%	0.0%	7.7%	7.3%
同行者の体調不良・高山病	28.6%	36.4%	0.0%	25.0%	23.3%	4.3%	0.0%	0.0%	15.4%	7.3%
その他	9.5%	9.1%	48.0%	18.3%	18.9%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	2.4%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

## ⑥ 御来光の有無（見られたかどうか）

- ・ 御来光を見られたかどうかについては、「見た（あり）」と回答した登山者が 89.8%、「見ていない（なし）」と回答した割合が 10.2%と、約 9 割の登山者がご来光を見られていた結果となった。なお、外国語調査ではさらに高い 95.2%の登山者がご来光を「見た（あり）」と回答した。
- ・ 登山道別には、吉田口が最も「見た（あり）」の割合が高く 97.9%、次いで須走口 91.2%、富士宮口 85.5%、御殿場口 74.3%となっていた。これは、御来光の見られる登山道の方角・地形のの違いも影響していることが想定される。

表 御来光の有無（見られたかどうか）

御来光の有無	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
あり	561	135	107	537	1340	268	24	18	210	520
なし	12	13	37	91	153	9	0	2	15	26
計	573	148	144	628	1493	277	24	20	225	546

御来光の有無	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
あり	97.9%	91.2%	74.3%	85.5%	89.8%	96.8%	100.0%	90.0%	93.3%	95.2%
なし	2.1%	8.8%	25.7%	14.5%	10.2%	3.2%	0.0%	10.0%	6.7%	4.8%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

## ⑦ 御来光を見た場所（見た人のみ）

- ・ 御来光を見た人に、御来光を見た場所を尋ねたところ、「山頂」が最も多く 66.2%、次いで「山小屋前」 18.1%、「登山道」 14.0%となった。
- ・ 多くの人々が「山頂」で御来光を見ている結果となったが、登山道別には、須走口や吉田口では比較的「山小屋前」で御来光を見た人の割合も高く、須走口 24.4%、吉田口 21.9%となっている。一方、御殿場口では「登山道」で御来光を見た人の割合が比較的高く 35.5%となっている。
- ・ 外国語調査では、「山頂」で御来光を見た割合がいずれの登山道でも高くなっている。

表 御来光を見た場所（見た人のみ）

御来光を見た場所	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
山頂	351	76	52	408	887	203	21	14	169	407
登山道	77	25	38	47	187	37	0	4	19	60
山小屋前	123	33	16	70	242	25	3	0	14	42
その他	10	1	1	12	24	3	0	0	1	4
計	561	135	107	537	1340	268	24	18	203	513

御来光を見た場所	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
山頂	62.6%	56.3%	48.6%	76.0%	66.2%	75.7%	87.5%	77.8%	83.3%	79.3%
登山道	13.7%	18.5%	35.5%	8.8%	14.0%	13.8%	0.0%	22.2%	9.4%	11.7%
山小屋前	21.9%	24.4%	15.0%	13.0%	18.1%	9.3%	12.5%	0.0%	6.9%	8.2%
その他	1.8%	0.7%	0.9%	2.2%	1.8%	1.1%	0.0%	0.0%	0.5%	0.8%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

### ⑧ ガイドの利用

- ・ 登山ガイドの利用有無については、「利用した（あり）」と回答した登山者の割合が28.2%と約3割、一方で「利用していない（なし）」とした回答は71.8%となった。
- ・ 登山道によってガイド利用の有無の傾向は異なり、ガイド利用が多いのは吉田口で52.2%、次いで富士宮口18.3%で、御殿場口（0.0%）と須走口（4.7%）ではガイドの利用者少ない結果となった。

表 ガイドの利用

ガイド利用	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
あり	299	7	0	115	421	62	7	2	37	108
なし	274	141	144	513	1072	211	16	18	187	432
計	573	148	144	628	1493	273	23	20	224	540

ガイド利用	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
あり	52.2%	4.7%	0.0%	18.3%	28.2%	22.7%	30.4%	10.0%	16.5%	20.0%
なし	47.8%	95.3%	100.0%	81.7%	71.8%	77.3%	69.6%	90.0%	83.5%	80.0%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

### ⑨ 富士登山回数

- ・ 調査時における富士登山の回数を尋ねたところ、今回は「初めて」と回答した登山者は最も多く43.0%となった。次いで多かったのが「2～3回」で27.2%、「4～9回」が19.4%、「10回以上」の富士登山経験者は10.4%だった。
- ・ 登山道別には、富士登山が「初めて」の登山者は吉田口で多く58.3%に上り、一方で御殿場口で富士登山が「初めて」と回答した登山者は29.2%に留まり、「2～3回」が25.7%、「4～9回」が26.4%、「10回以上」の登山者は18.8%に上った。
- ・ 外国語調査では、「初めて」の登山者が多く約9割（89.8%）を占めた。

表 富士登山回数

富士登山回数	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
初めて	334	43	42	223	642	257	21	17	191	486
2～3回	141	54	37	174	406	15	2	3	21	41
4～9回	71	36	38	145	290	3	0	0	8	11
10～19回	20	9	17	63	109	1	0	0	1	1
20回以上	7	6	10	23	46	1	0	0	2	3
計	573	148	144	628	1493	277	23	20	223	541

富士登山回数	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
初めて	58.3%	29.1%	29.2%	35.5%	43.0%	92.8%	91.3%	85.0%	85.7%	89.8%
2～3回	24.6%	36.5%	25.7%	27.7%	27.2%	5.4%	8.7%	15.0%	9.4%	7.6%
4～9回	12.4%	24.3%	26.4%	23.1%	19.4%	1.1%	0.0%	0.0%	3.6%	2.0%
10～19回	3.5%	6.1%	11.8%	10.0%	7.3%	0.4%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%
20回以上	1.2%	4.1%	6.9%	3.7%	3.1%	0.4%	0.0%	0.0%	0.9%	0.6%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑩ 混雑予想カレンダーの確認有無

- ・ 混雑予想カレンダーを登山前に見ていたかを尋ねる質問をしたところ、「見た」と回答した登山者が約3割（29.7%）となった。
- ・ 登山道別には、富士宮で「見た」とする回答割合が最も高く32.3%、次いで吉田口29.3%、須走口26.4%、御殿場口23.6%となっていた。
- ・ 外国語調査では、やや「見た」割合が低く、24.6%となっていた。

表 混雑予想カレンダーの確認有無

混雑予想カレンダー	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
見た	168	39	34	203	444	49	3	6	75	133
見ていない	405	109	110	425	1049	224	20	14	149	407
計	573	148	144	628	1493	273	23	20	224	540

混雑予想カレンダー	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
見た	29.3%	26.4%	23.6%	32.3%	29.7%	17.9%	13.0%	30.0%	33.5%	24.6%
見ていない	70.7%	73.6%	76.4%	67.7%	70.3%	82.1%	87.0%	70.0%	66.5%	75.4%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑪ 混雑予想カレンダーを見た媒体（見た人のみ）

- ・ 混雑予想カレンダーを登山前に見ていた人に、カレンダーをどの媒体で見たかを尋ねたところ、「オフィシャルサイト」とした回答が最も多く92.3%に上った。それ以外の媒体は比較的回答割合が低く、「チラシ」6.8%、「雑誌」2.5%となった。
- ・ 登山道別には、上記の傾向に大きな違いはなかった。
- ・ また、外国語調査でも多いのは「オフィシャルサイト」であったが、選択率はやや下がり72.9%であった。

表 混雑予想カレンダーを見た媒体（見た人のみ）

見た媒体	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
富士登山オフィシャルサイト	156	39	31	184	410	38	2	5	52	97
チラシ	13	0	2	15	30	6	0	0	6	12
雑誌	3	0	2	6	11	3	0	0	6	9
その他のウェブサイト	3	0	0	3	6	1	1	0	5	7
その他	3	0	0	3	6	3	0	1	3	7
計	168	39	34	203	444	49	3	6	75	133

見た媒体	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
富士登山オフィシャルサイト	92.9%	100.0%	91.2%	90.6%	92.3%	77.6%	66.7%	83.3%	69.3%	72.9%
チラシ	7.7%	0.0%	5.9%	7.4%	6.8%	12.2%	0.0%	0.0%	8.0%	9.0%
雑誌	1.8%	0.0%	5.9%	3.0%	2.5%	6.1%	0.0%	0.0%	8.0%	6.8%
その他のウェブサイト	1.8%	0.0%	0.0%	1.5%	1.4%	2.0%	33.3%	0.0%	6.7%	5.3%
その他	1.8%	0.0%	0.0%	1.5%	1.4%	6.1%	0.0%	16.7%	4.0%	5.3%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑫ 混雑予想カレンダーを見た上での登山予定の変更有無（見た人のみ）

- ・ 混雑予想カレンダーを登山前に見ていた人に、カレンダーを見た結果、自身の登山予定を変更したかどうかを尋ねたところ、「変更した（あり）」と回答した人は14.2%であった。これは、混雑予想カレンダーを見ていなかった人も合わせた登山者全体からの割合で見ると4.2%となる。
- ・ 登山道別には、須走口での「変更した（あり）」とした回答割合がやや高く20.5%、次いで富士宮口15.8%、御殿場口14.7%、吉田口10.7%となっている。
- ・ 外国語調査では、「変更した（あり）」の回答割合が日本語調査（14.2%）よりも高く、29.1%となっている。

表 混雑予想カレンダーを見た上での登山予定の変更有無（見た人のみ）

予定の変更	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
変更した	18	8	5	32	63	11	2	3	21	37
変更していない	150	31	29	171	381	36	1	3	50	90
計	168	39	34	203	444	47	3	6	71	127

予定の変更	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
変更した	10.7%	20.5%	14.7%	15.8%	14.2%	23.4%	66.7%	50.0%	29.6%	29.1%
変更していない	89.3%	79.5%	85.3%	84.2%	85.8%	76.6%	33.3%	50.0%	70.4%	70.9%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑬ 混雑予想カレンダーを見た上での登山予定の変更内容（変更した人のみ）

- ・ 混雑予想カレンダーを見た上で登山予定を変更した人を対象に、その変更内容を尋ねたところ、「登山日」が変更内容として最も多く68.3%、次いで「登山時間」39.7%、「登山道」20.6%と、登山日を変更した人が比較的多い結果となった。
- ・ 登山道別及び外国語調査については、対象サンプル数が少ないため、ここでの分析は行わない。

表 混雑予想カレンダーを見た上での登山予定の変更内容（変更した人のみ）

見た媒体	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
登山日	14	6	2	21	43	6	2	2	14	24
時間	4	5	3	13	25	2	0	1	4	7
登山道	1	4	3	5	13	3	0	0	2	5
その他	1	0	0	1	2	0	0	0	1	1
計	18	8	5	32	63	11	2	3	21	37

見た媒体	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
登山日	77.8%	75.0%	40.0%	65.6%	68.3%	54.5%	100.0%	66.7%	66.7%	64.9%
時間	22.2%	62.5%	60.0%	40.6%	39.7%	18.2%	0.0%	33.3%	19.0%	18.9%
登山道	5.6%	50.0%	60.0%	15.6%	20.6%	27.3%	0.0%	0.0%	9.5%	13.5%
その他	5.6%	0.0%	0.0%	3.1%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	2.7%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑭ 混雑動画の確認有無\*

- ・ 混雑動画を登山前に見ていたかを尋ねる質問をしたところ、「見た」と回答した登山者が8.2%と1割弱の登山者が見えていたことが分かった。
- ・ 登山道別には、吉田口で「見た」とする回答割合がやや高く11.3%、次いで富士宮口6.8%、御殿場口6.7%、須走口4.0%となっていた。

表 混雑動画の確認有無

混雑動画	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
見た	34	3	5	24	66	-	-	-	-	-
見ていない	268	72	70	330	740	-	-	-	-	-
計	302	75	75	354	806	-	-	-	-	-

混雑動画	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
見た	11.3%	4.0%	6.7%	6.8%	8.2%	-	-	-	-	-
見ていない	88.7%	96.0%	93.3%	93.2%	91.8%	-	-	-	-	-
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	-	-	-	-

⑮ 混雑動画を見た上での登山予定の変更有無（見た人のみ）

- ・ 混雑動画を登山前に見ていた人に、カレンダーを見た結果、自身の登山予定を変更したかどうかを尋ねたところ、「変更した（あり）」と回答した人は12.1%であった。これは、混雑予想カレンダーを見ていなかった人も合わせた登山者全体からの割合で見ると1.0%となる。
- ・ 登山道別には、対象サンプル数が少ないため、ここでの分析は行わない。

表 混雑動画を見た上での登山予定の変更有無（見た人のみ）

予定の変更	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
変更した	1	0	1	6	8	-	-	-	-	-
変更していない	33	3	4	18	58	-	-	-	-	-
計	34	3	5	24	66	-	-	-	-	-

予定の変更	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
変更した	2.9%	0.0%	20.0%	25.0%	12.1%	-	-	-	-	-
変更していない	97.1%	100.0%	80.0%	75.0%	87.9%	-	-	-	-	-
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	-	-	-	-

※ 混雑動画に関する設問（⑭、⑮）は、6日間の調査日のうち、動画の公開期間内であった2019年8月11日及び12日の2日分のみで調査を実施している。



## (6) 自由記述内容の整理

### ① 危険を感じた内容「その他」

- ・ 登山時に感じた危険を選択肢から回答する設問で「その他」を選択し、具体的内容を自由記述で記載した人の回答について、内容ごとに分類・集計を行った。
- ・ その結果、日本語調査では他の登山者のマナー面への指摘が多く見られた一方、外国語調査ではマナー面を挙げる回答は皆無であった。日本語調査で最も多かった内容は「マナー（知識、ルール、モラル等）」で回答者の20.9%、外国語調査では「転倒、滑る」で回答者の18.8%となった。

表 危険を感じた内容「その他」の分類結果

危険を感じた内容「その他」について	日本語		外国語	
	回答数	割合	回答数	割合
落下	21	11.9%	3	9.4%
岩場、砂利、段差	14	7.9%	4	12.5%
転倒、滑る	16	9.0%	6	18.8%
整備（道・ロープ・柵）	15	8.5%	4	12.5%
泥濘、渋滞	8	4.5%	2	6.3%
マナー（追い越し、ペース、走行、ルート外れ）	25	14.1%	0	0.0%
マナー（軽装、装備）	15	8.5%	0	0.0%
マナー（知識、ルール、モラル等）	37	20.9%	0	0.0%
外国人	25	14.1%	0	0.0%
高山病、体調、体力	29	16.4%	4	12.5%
天候、時間、空気の湿さ、寒さ	10	5.6%	2	6.3%
その他	19	10.7%	3	9.4%
保留&質問から外れた回答（満足など）	2	1.1%	1	3.1%
なし&不明	2	1.1%	1	3.1%
回答した人の数	177	100.0%	32	100.0%

## ② 富士登山における不満・改善を求める事項

- 富士登山における不満・改善を求める事項について自由記述で回答された結果について、内容ごとに分類・集計を行った。
- 日本語調査で最も多く不満・改善を求める事項として挙げた内容は、「山小屋における施設・設備」面のサービスで回答者の21.9%、次いで「他の利用者のマナー」が18.5%、「トイレにおける施設・設備」面のサービスが14.5%となった。
- 一方、外国語調査では、「他の利用者による混雑」を挙げる声が多く、回答者の18.6%（日本語調査では12.2%）、次いで「トイレにおける施設・設備」面のサービスが16.9%、「山小屋における施設・設備」面のサービスが16.4%となった。
- なお、日本語調査で回答者の10.0%が挙げた「外国人登山者のマナー」に関する内容の内訳をさらに分類すると、マナー全般を挙げる声は回答中の29.5%と最も多いが、具体的な内容の中では「追い越し、割り込み」26.3%が多く、次いで「騒音」14.7%、「気遣い（挨拶、譲り合い）」12.6%となった。

表 富士登山における不満・改善を求める事項の分類結果

富士登山における不満・改善を求める事項		日本語		外国語	
		回答数	割合	回答数	割合
リ ー ド ス	登山道	52	5.5%	17	9.6%
	施設・設備 山小屋	208	21.9%	29	16.4%
	施設・設備 トイレ	137	14.5%	30	16.9%
	施設・設備_その他	39	4.1%	15	8.5%
	交通	20	2.1%	1	0.6%
	情報提供	57	6.0%	3	1.7%
	対応 ガイド	17	1.8%	0	0.0%
	対応 山小屋	38	4.0%	5	2.8%
	対応_その他	26	2.7%	2	1.1%
	環 境	価格	24	2.5%	16
ゴミ		41	4.3%	0	0.0%
タバコ		19	2.0%	0	0.0%
混雑		116	12.2%	33	18.6%
利 用 者	マナー	175	18.5%	1	0.6%
	マナー 外国人	95	10.0%	0	0.0%
	利用法の違い	61	6.4%	1	0.6%
そ の 他	協力金・規制	42	4.4%	1	0.6%
	その他	44	4.6%	12	6.8%
	保留&質問から外れた回答（満足など）	12	1.3%	13	7.3%
	なし&不明	106	11.2%	25	14.1%
回答した人の数		948	100.0%	177	100.0%

マナー_外国人の内訳	回答数	割合
追い越し、割り込み	25	26.3%
接触	3	3.2%
ルート外、逆ルート	6	6.3%
道を塞ぐ、法がら、占領	6	6.3%
ルール（順番待ち、上り優先など）	8	8.4%
気遣い（挨拶、譲り合いなど）	12	12.6%
騒音	6	6.3%
騒音	14	14.7%
ホウダク	6	6.3%
その他	3	3.2%
全般	28	29.5%
回答した人の数	95	100.0%

## (7) 回答者属性

### ① 性別

- 回答者の性別は以下の通り。

表 性別

性別	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
男性	329	112	118	432	991	192	16	14	164	386
女性	244	36	26	196	502	80	7	6	59	152
計	573	148	144	628	1493	272	23	20	223	538

性別	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
男性	57.4%	75.7%	81.9%	68.8%	66.4%	70.6%	69.6%	70.0%	73.5%	71.7%
女性	42.6%	24.3%	18.1%	31.2%	33.6%	29.4%	30.4%	30.0%	26.5%	28.3%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

### ② 年代

- 回答者の年代は、以下の通り。

表 年代

年代	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
10歳代	6	1	3	13	23	23	2	0	11	36
20歳代	98	23	18	65	204	141	13	14	106	274
30歳代	94	30	36	117	277	65	5	4	64	138
40歳代	140	50	38	174	402	16	2	1	18	37
50歳代	157	34	32	177	400	19	0	0	11	30
60歳代	66	9	17	72	164	3	0	0	6	9
70歳代以上	12	1	0	10	23	2	0	0	1	3
計	573	148	144	628	1493	269	22	19	217	527

年代	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
10歳代	1.0%	0.7%	2.1%	2.1%	1.5%	8.6%	9.1%	0.0%	5.1%	6.8%
20歳代	17.1%	15.5%	12.5%	10.4%	13.7%	52.4%	59.1%	73.7%	48.8%	52.0%
30歳代	16.4%	20.3%	25.0%	18.6%	18.6%	24.2%	22.7%	21.1%	29.5%	26.2%
40歳代	24.4%	33.8%	26.4%	27.7%	26.9%	5.9%	9.1%	5.3%	8.3%	7.0%
50歳代	27.4%	23.0%	22.2%	28.2%	26.8%	7.1%	0.0%	0.0%	5.1%	5.7%
60歳代	11.5%	6.1%	11.8%	11.5%	11.0%	1.1%	0.0%	0.0%	2.8%	1.7%
70歳代以上	2.1%	0.7%	0.0%	1.6%	1.5%	0.7%	0.0%	0.0%	0.5%	0.6%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

### ③ 職業

- ・ 回答者の職業は以下の通り。

表 職業

職業	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
学生	24	7	4	19	54	-	-	-	-	-
会社員・公務員	423	123	124	489	1159	-	-	-	-	-
自営業	38	10	7	49	104	-	-	-	-	-
その他	88	8	9	71	176	-	-	-	-	-
計	573	148	144	628	1493	-	-	-	-	-

職業	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
学生	4.2%	4.7%	2.8%	3.0%	3.6%	-	-	-	-	-
会社員・公務員	73.8%	83.1%	86.1%	77.9%	77.6%	-	-	-	-	-
自営業	6.6%	6.8%	4.9%	7.8%	7.0%	-	-	-	-	-
その他	15.4%	5.4%	6.3%	11.3%	11.8%	-	-	-	-	-
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	-	-	-	-

### ④ 登山経験

- ・ 回答者の登山経験は、以下の通り。

表 登山経験

登山経験	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
初心者	277	43	36	196	552	158	13	12	132	315
2～3年	116	30	28	116	290	60	5	5	40	110
4～9年	87	32	43	155	317	34	4	1	24	63
10年以上	93	43	37	161	334	21	1	0	24	46
計	573	148	144	628	1493	273	23	18	220	534

登山経験	日本語					外国語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
初心者	48.3%	29.1%	25.0%	31.2%	37.0%	57.9%	56.5%	66.7%	60.0%	59.0%
2～3年	20.2%	20.3%	19.4%	18.5%	19.4%	22.0%	21.7%	27.8%	18.2%	20.6%
4～9年	15.2%	21.6%	29.9%	24.7%	21.2%	12.5%	17.4%	5.6%	10.9%	11.8%
10年以上	16.2%	29.1%	25.7%	25.6%	22.4%	7.7%	4.3%	0.0%	10.9%	8.6%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

### 3. 富士山の適正な収容力及び来訪者管理等に係る分析・提案

#### (1) 指標・水準の達成状況の評価・検証

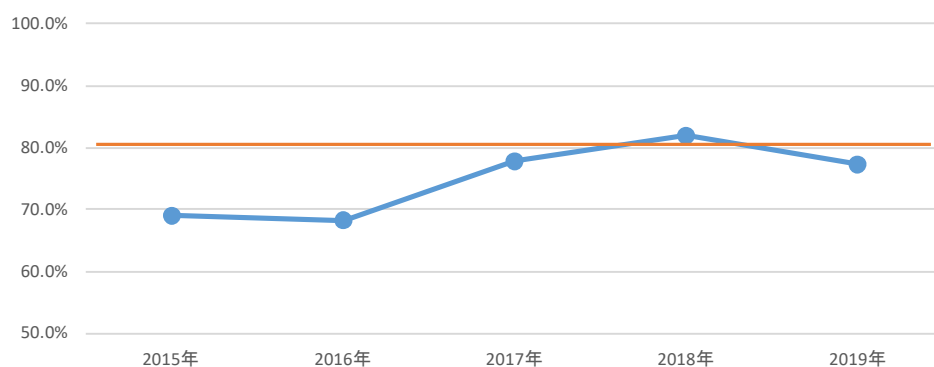
- ・ 来訪者管理戦略で掲げられた『望ましい富士登山の在り方』を実現するための指標・水準」の中で、モニタリング方法が登山者アンケート調査による項目の調査結果（経年）を以下に示す。なお、グラフ中の青色が調査結果であり、橙色が定められた水準（2019年の目標値）である。
- ・ 各指標の2019年の計測結果及び過去5年の値の推移については以下で順番に示していくが、2019年において目標値が達成された指標は、5指標中0個となった。また、過去5年を通じて大きく悪化している指標値はないものの、明確に改善が見られたのは「伝統的な登拝の登山形態と同様に、山小屋で休息してから山頂で御来光を拝む登山者の割合」のみで、他指標は概ね横ばいの推移となっている。
- ・ 既存の取り組みだけでは目標値が達成されていないため、「望ましい富士登山の在り方」を実現するためには、既存施策の効果検証を行いながら更なる継続・強化を図るとともに、新規施策の追加も必要だと考えられる。同内容については、(2)で記述を行う。
- ・ なお、現在使用している指標群については、引き続きモニタリングを行い、「望ましい富士登山の在り方」の実現に向けた進捗管理に役立てることが望まれる。また、指標の変更・追加については、現時点で来訪者管理戦略の策定時点における「望ましい富士登山の在り方」が変化しているとは考えづらいため、大きな修正は必要ないものと考えられる。

### ① 伝統的な登拝の登山形態と同様に、山小屋で休息してから山頂で御来光を拝む登山者の割合

- 2019年の調査結果は「77.3%」となり、2018年よりもやや低下した。2018年は目標値の80%を超える結果となったが、2019年は再び目標値を下回る結果となっている。過去5年間の推移を見ると、2015-2016年がやや低く、2017年以降の3か年はやや割合が上昇している。
- なお、このデータは「山頂で御来光を拝む登山者」が分母として、その中で「山小屋で宿泊した人」と回答した人の割合を計算した結果である点に留意する必要がある。
- 登山道別には、2019年は吉田口の結果が比較的高く、御殿場口が低い結果となっており、この傾向はこの5年間を見ても概ね同じ傾向となっている。なお、登山者全体における山小屋の宿泊割合は71.3%（2019年）で、山頂で御来光を拝む登山者は、より山小屋で休息する割合が高いことが分かる。
- 登山の文化的伝統の継承にあたっては、案内所等の運営などによる「山麓からの登山の推奨」や、体験ツアーの実施などによる「山麓の構成資産の周遊促進」といった対策が実施されてきたが、現時点で指標値の変化との因果関係を判断することは難しい。ただし、登山の文化的伝統の継承に関する指標項目であり、かつ宿泊を伴わない夜間登山の抑制を通じて登山者の安全確保にもつながる重要な指標項目となっており、引き続きアンケート調査を通じてモニタリングを行っていくべき項目だと考えられる。

図表 伝統的な登拝の登山形態と同様に、山小屋で休息してから山頂で御来光を拝む登山者の割合（1／2）

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	目標値
指標値	69.0%	68.2%	77.7%	82.0%	77.3%	80%以上



図表 伝統的な登拝の登山形態と同様に、山小屋で休息してから山頂で御来光を拝む登山者の割合（2／2）

		吉田口	須走口	御殿場口	富士宮口	計
2015	第1回	85.1%	45.5%	60.0%	63.6%	71.2%
	第2回	73.8%	45.0%	66.7%	70.3%	69.8%
	第3回	84.8%	69.2%	57.1%	57.5%	66.9%
	第4回	75.8%	57.1%	40.0%	64.1%	66.6%
	第5回	84.6%	54.5%	52.9%	51.3%	72.4%
	計	80.1%	56.5%	51.9%	60.7%	69.0%
2016	第1回	83.2%	63.2%	52.0%	60.0%	68.3%
	第2回	77.6%	80.0%	100.0%	75.0%	78.6%
	第3回	78.4%	43.5%	43.8%	62.2%	63.3%
	第4回	80.1%	44.3%	58.1%	70.9%	67.3%
	第5回	83.5%	65.2%	56.0%	60.9%	71.5%
	計	80.9%	54.2%	53.4%	63.4%	68.2%
2017	第1回	88.0%	48.8%	70.4%	74.8%	77.3%
	第2回	90.9%	60.0%	50.0%	71.4%	78.9%
	第3回	95.2%	100.0%	80.0%	88.9%	92.3%
	第4回	89.4%	25.0%	90.0%	84.4%	84.9%
	第5回	88.4%	60.0%	68.9%	71.4%	77.4%
	第6回	84.2%	54.5%	55.0%	74.8%	74.7%
	計	87.5%	55.1%	68.8%	75.1%	77.7%
2018	第1回	85.0%	90.9%	23.1%	66.7%	69.8%
	第2回	90.2%	84.6%	85.7%	81.0%	85.3%
	第3回	79.5%	83.3%	50.0%	90.3%	83.3%
	第4回	94.7%	87.5%	0.0%	94.7%	92.4%
	第5回	88.7%	61.1%	33.3%	88.2%	81.1%
	第6回	91.9%	78.6%	85.7%	90.0%	88.6%
	不明	80.0%	100.0%	-	75.0%	83.3%
	計	88.3%	79.7%	48.7%	80.9%	82.0%
2019	第1回	88.6%	75.0%	100.0%	87.0%	88.4%
	第2回	91.7%	62.5%	50.0%	81.0%	82.7%
	第3回	92.5%	100.0%	58.3%	82.1%	86.2%
	第4回	83.3%	55.0%	33.3%	69.8%	71.1%
	第5回	78.4%	9.1%	66.7%	66.4%	68.3%
	第6回	88.7%	80.0%	50.0%	72.7%	78.1%
	計	86.3%	65.8%	59.6%	74.0%	77.3%

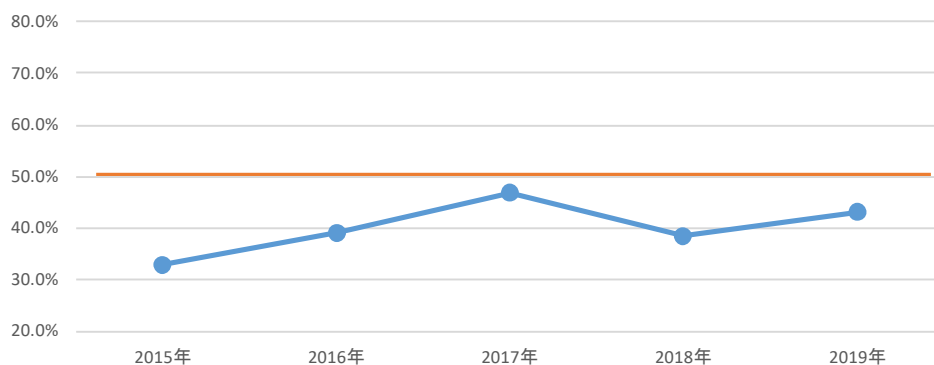
## ② 山麓の神社や湖などを巡ったのちに富士登山をする文化的伝統を知っている登山者の割合

- 2019年の調査結果は「43.1%」となり、2018年よりやや上昇した。ただし、目標値の50%には達しなかった。過去5年間の推移を見てみると、ほぼ横ばいに推移しており、文化的伝統を知っている登山者の割合が最も高かったのは2017年の47.0%で、いずれの年も目標値には達しなかった。
- 登山道別には、2019年は富士宮口が最も高く46.0%、次いで吉田口43.1%、須走口37.8%で、御殿場口の36.1%が最も低くなっている。この傾向は調査年によって異なり、2018年は須走口の値が最も高くなっていた。
- 前述の通り、登山の文化的伝統の継承にあたっては、案内所等の運営などによる「山麓からの登山の推奨」や、体験ツアーの実施などによる「山麓の構成資産の周遊促進」といった対策が実施されている。ただし、現時点で指標値の変化との因果関係を判断することは難しい。引き続き対策を実施するとともに、本指標項目についてのモニタリングの継続も実施していくことが望まれる。



図表 山麓の神社や湖などを巡ったのちに富士登山をする文化的伝統を知っている登山者の割合（1/2）

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	目標値
指標値	32.9%	39.0%	47.0%	38.6%	43.1%	50%以上



図表 山麓の神社や湖などを巡ったのちに富士登山をする文化的伝統を知っている登山者の割合（2/2）

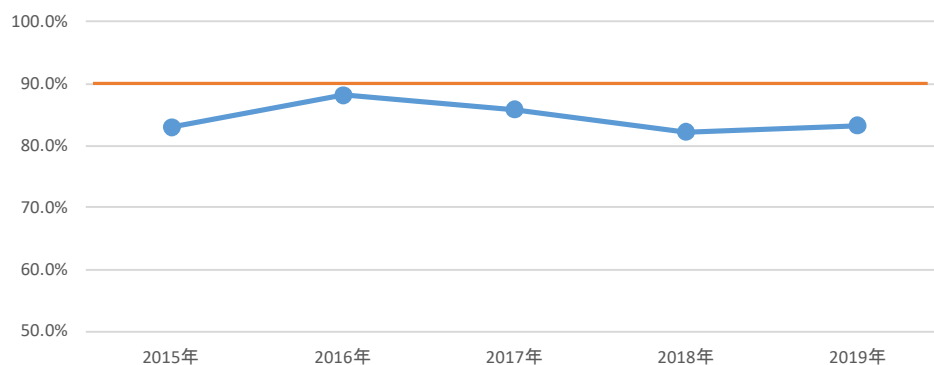
		吉田口	須走口	御殿場口	富士宮口	計
2015	第1回	37.8%	37.8%	33.3%	42.4%	38.5%
	第2回	33.2%	31.7%	28.8%	26.7%	30.4%
	第3回	41.4%	29.3%	30.0%	37.5%	36.7%
	第4回	38.0%	34.2%	37.7%	31.1%	35.1%
	第5回	23.1%	26.8%	19.2%	29.6%	24.9%
	計	33.8%	32.5%	29.5%	32.9%	32.9%
2016	第1回	33.6%	41.7%	44.3%	42.0%	39.3%
	第2回	43.2%	50.0%	35.5%	45.5%	44.3%
	第3回	38.9%	45.8%	44.4%	38.8%	40.8%
	第4回	33.1%	34.6%	33.9%	40.6%	35.6%
	第5回	33.8%	38.4%	41.0%	39.9%	37.2%
	計	36.1%	40.8%	40.3%	41.0%	39.0%
2017	第1回	42.6%	41.9%	46.2%	49.1%	44.8%
	第2回	43.0%	58.5%	50.0%	51.2%	47.9%
	第3回	52.0%	54.5%	60.9%	46.5%	52.2%
	第4回	46.9%	39.1%	33.3%	59.6%	47.5%
	第5回	42.1%	54.6%	42.7%	51.4%	46.9%
	第6回	41.1%	47.3%	44.7%	55.3%	46.4%
	計	43.8%	49.6%	46.1%	51.9%	47.0%
2018	第1回	23.6%	52.6%	44.0%	42.7%	38.8%
	第2回	41.2%	55.6%	52.6%	38.8%	43.3%
	第3回	36.9%	60.9%	40.0%	45.3%	43.8%
	第4回	43.8%	42.9%	0.0%	54.3%	46.1%
	第5回	29.4%	30.8%	42.1%	40.0%	33.5%
	第6回	27.3%	30.4%	21.4%	33.9%	29.6%
	不明	40.0%	75.0%	-	20.0%	42.1%
	計	33.6%	45.0%	40.5%	41.3%	38.6%
2019	第1回	50.8%	37.5%	23.1%	43.2%	44.4%
	第2回	50.0%	25.0%	40.0%	38.5%	43.3%
	第3回	37.4%	43.6%	30.0%	48.9%	42.7%
	第4回	42.4%	40.6%	43.3%	44.4%	43.0%
	第5回	43.0%	30.3%	40.5%	48.6%	44.3%
	第6回	39.0%	41.7%	31.6%	44.9%	41.2%
	計	43.1%	37.8%	36.1%	46.0%	43.1%

### ③ 富士山に「神聖さ」を感じた登山者の割合

- 2019年の調査結果は「83.2%」となり、ほぼ2018年の値（82.2%）と同程度となった。過去5年の推移を見てみると、ほぼ横ばいに推移しており、「神聖さ」を感じた登山者の割合が最も高かったのは2016年の88.2%で、いずれの年も目標値とする90%以上には達しなかった。
- 登山道別には、2019年は須走口が最も高く86.5%、次いで富士宮口84.7%、吉田口83.1%で、御殿場口の73.6%が最も低くなっている。この傾向は調査年によって異なり、2018年は御殿場口の値が最も高くなっていた。
- 前述の通り、登山の文化的伝統の継承にあたっては、案内所等の運営などによる「山麓からの登山の推奨」や、体験ツアーの実施などによる「山麓の構成資産の周遊促進」といった対策が実施されている。ただし、現時点で指標値の変化との因果関係を判断することは難しい。引き続き対策を実施するとともに、本指標項目についてのモニタリングの継続も実施していくことが望まれる。
- 加えて、継続モニタリング項目としては本指標項目を維持しつつ、「富士山の」神聖さについては対象が曖昧で回答者によって解釈が異なり判断が難しいことも想定されるため、例えば「登山道沿いの神社」や「山小屋内の雰囲気」「富士講の巡礼者」など対象を特定することについても検討の余地があると考えられる。

図表 富士山に「神聖さ」を感じた登山者の割合（1／2）

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	目標値
指標値	83.0%	88.2%	85.9%	82.2%	83.2%	90%以上



図表 図表 富士山に「神聖さ」を感じた登山者の割合（2／2）

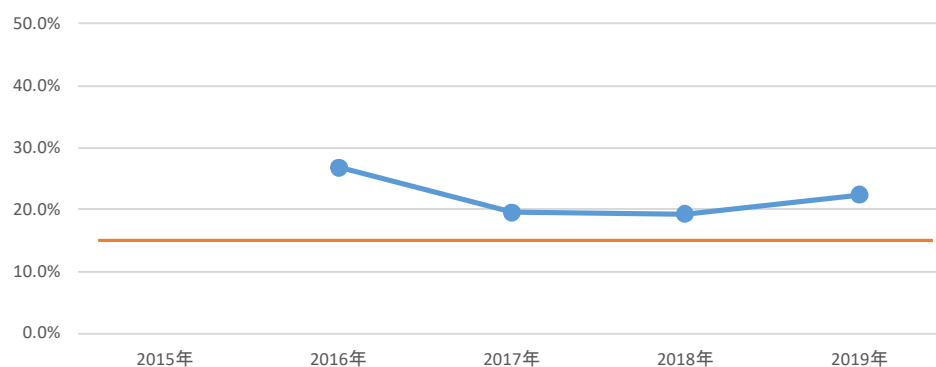
		吉田口	須走口	御殿場口	富士宮口	計
2015	第1回	80.8%	79.7%	85.2%	86.2%	82.0%
	第2回	82.2%	83.8%	78.2%	84.5%	82.9%
	第3回	87.9%	83.8%	77.5%	84.5%	84.9%
	第4回	81.1%	83.5%	76.5%	83.3%	81.9%
	第5回	81.6%	85.7%	88.5%	81.5%	82.8%
	計	82.5%	83.2%	80.9%	83.9%	83.0%
2016	第1回	88.4%	90.7%	85.2%	87.7%	88.4%
	第2回	89.5%	90.4%	90.3%	92.5%	90.8%
	第3回	86.8%	83.2%	88.9%	91.5%	87.7%
	第4回	89.3%	86.6%	85.5%	94.1%	89.6%
	第5回	82.7%	90.2%	85.2%	87.9%	85.8%
	計	87.1%	87.7%	86.7%	90.5%	88.2%
2017	第1回	83.2%	84.9%	84.0%	85.1%	84.1%
	第2回	85.0%	94.3%	81.7%	88.1%	86.5%
	第3回	81.2%	75.8%	78.3%	83.7%	80.6%
	第4回	87.7%	95.7%	81.0%	87.2%	87.8%
	第5回	91.1%	89.7%	74.7%	83.8%	86.7%
	第6回	87.2%	86.8%	86.5%	91.4%	88.3%
	計	86.1%	87.8%	80.9%	86.7%	85.9%
2018	第1回	80.0%	84.2%	84.0%	82.7%	82.3%
	第2回	85.3%	96.3%	84.2%	82.5%	85.6%
	第3回	86.2%	73.9%	80.0%	75.5%	80.1%
	第4回	85.9%	78.6%	100.0%	88.6%	86.1%
	第5回	77.1%	61.5%	84.2%	80.0%	75.8%
	第6回	87.9%	73.9%	78.6%	88.1%	85.2%
	不明	80.0%	100.0%	-	100.0%	89.5%
	計	83.1%	77.2%	83.3%	82.8%	82.2%
2019	第1回	88.5%	87.5%	84.6%	90.9%	88.9%
	第2回	81.8%	66.7%	73.3%	90.8%	83.3%
	第3回	83.8%	89.7%	83.3%	82.0%	83.7%
	第4回	87.1%	93.8%	60.0%	88.9%	85.2%
	第5回	81.5%	75.8%	78.4%	83.6%	81.7%
	第6回	79.0%	95.8%	63.2%	80.4%	80.0%
	計	83.1%	86.5%	73.6%	84.7%	83.2%

#### ④ 登山道や山頂付近でゴミをよく見かけた登山者の割合

- 本調査項目は、2016年より計測が開始された項目である。
- 2019年の調査結果は「22.4%」となり、2018年よりやや上昇（悪化）する結果となった。過去5年の推移を見てみると、調査開始年の2016年が26.8%とやや結果が悪く、以降3か年はほぼ横ばいに推移している。なお、目標値の15%以下は過去4か年いずれも達成していない。
- 登山道別には、2019年は御殿場口が最も低く16.7%、次いで富士宮口19.7%、須走口20.3%となっており、最もゴミをよく見かけた登山者の割合が高いのは吉田口で27.1%となった。各値の大きさは異なるものの、登山道別の値の小さな順番は調査開始以来4年間概ね同じで、少ない順に御殿場口、富士宮口、須走口、吉田口となっている（ただし2017年は御殿場口と富士宮口の順が逆）。
- 当指標項目に係る「登山の安全性・快適性の確保」の実現に資する対策の例としては、「平準化に向けた情報提供」として混雑予想カレンダーの「富士登山オフィシャルサイト及び雑誌」への掲載など、「安全誘導員等の配置」を通じた登山者の誘導など、「宿泊を伴わない夜間登山の特性」としてシャトルバスの運行時間の見直しなど、「マイカー規制期間の見直し」によるマイカー規制の継続などが挙げられているが、ゴミを登山中に捨てないためのマナー周知については特に強調されていないため、指標の目標値達成のためには、よりゴミのポイ捨てに関連した対策の強調・強化も必要であると考えられる。
- 当指標項目については、上記の通り対策を継続・強化しつつ、他指標項目と同様、引き続きアンケート調査を通じてモニタリングを行っていくべき項目と考えられる。

図表 登山道や山頂付近でゴミをよく見かけた登山者の割合（1/2）

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	目標値
指標値		26.8%	19.6%	19.3%	22.4%	15%以下



図表 登山道や山頂付近でゴミをよく見かけた登山者の割合（2/2）

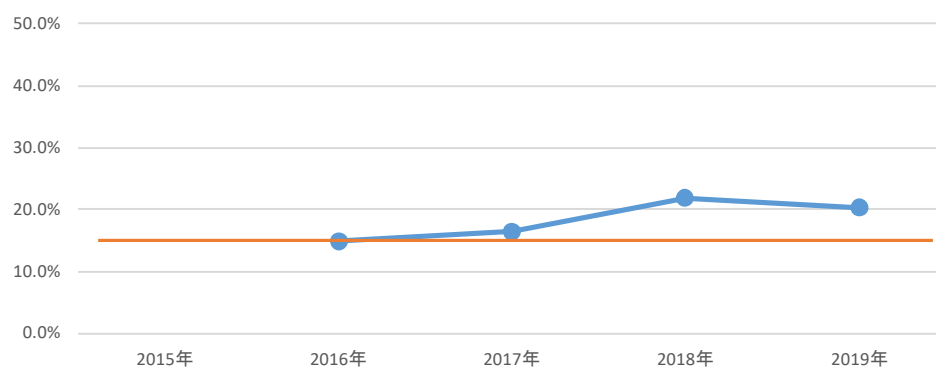
		吉田口	須走口	御殿場口	富士宮口	計
2015	第1回					
	第2回					
	第3回					
	第4回					
	第5回					
	計					
2016	第1回	25.5%	30.5%	19.7%	15.5%	22.7%
	第2回	29.2%	32.7%	6.5%	9.7%	20.8%
	第3回	27.2%	32.9%	14.3%	9.4%	21.7%
	第4回	34.0%	25.7%	14.8%	29.9%	29.0%
	第5回	43.9%	43.8%	29.5%	29.4%	38.0%
	計	32.4%	32.2%	18.1%	18.8%	26.8%
2017	第1回	25.5%	22.6%	19.8%	17.3%	21.9%
	第2回	23.3%	22.6%	11.7%	11.9%	18.6%
	第3回	22.1%	24.2%	13.0%	16.3%	20.6%
	第4回	22.8%	30.4%	4.8%	14.9%	20.2%
	第5回	19.8%	13.0%	22.0%	13.3%	17.1%
	第6回	25.2%	24.2%	15.8%	9.2%	19.8%
	計	23.3%	20.9%	17.0%	13.4%	19.6%
2018	第1回	29.1%	21.1%	16.0%	14.5%	19.1%
	第2回	14.7%	22.2%	31.6%	17.5%	18.6%
	第3回	21.5%	21.7%	20.0%	20.8%	21.2%
	第4回	17.2%	0.0%	0.0%	20.0%	15.7%
	第5回	16.5%	7.7%	10.5%	11.7%	13.2%
	第6回	42.4%	34.8%	7.1%	22.0%	30.9%
	不明	20.0%	0.0%	-	0.0%	10.5%
	計	22.7%	17.4%	16.7%	16.9%	19.3%
2019	第1回	18.0%	12.5%	0.0%	11.4%	13.5%
	第2回	21.6%	16.7%	6.7%	9.2%	15.6%
	第3回	12.1%	15.4%	13.3%	11.5%	12.4%
	第4回	30.6%	9.4%	23.3%	17.8%	21.9%
	第5回	26.7%	27.3%	13.5%	20.2%	22.4%
	第6回	48.6%	37.5%	42.1%	41.1%	43.9%
	計	27.1%	20.3%	17.4%	19.7%	22.4%

#### ⑤ 山小屋やトイレなどの登山者への支援施設に不満を感じた登山者（とても不満+やや不満）の割合

- 山小屋に不満を感じた登山者（とても不満+やや不満）の割合の2019年の調査結果は「20.2%」となり、2018年とほぼ同程度の値（21.9%）となった。過去4年の推移を見てみると、調査開始の2016年における14.8%、2017年における16.5%からやや増加している傾向にある。なお、目標値の15%以下に対しては、2016年は達成したものの、他3か年では未達成となっている。
- 一方、トイレに不満を感じた登山者（とても不満+やや不満）の割合の2019年の調査結果は「21.4%」となり、こちらも2018年とほぼ同程度の値（20.1%）となった。過去4年間の推移は、ほぼ横ばいで、いずれの年も目標値の15%以下は達成していない。
- 山小屋に対する不満を登山道別に見てみると、2018年は御殿場口の結果が最も低く13.0%で4登山道のうち唯一目標値の15%以下を達成している。一方でトイレに対する不満は、吉田口の18.4%が最も低いものの目標値は達成しておらず、山小屋への不満の少なかった御殿場口では27.2%と大幅に目標値に達しない結果となっている。トイレへの不満に対する結果からは、登山道沿いのトイレの数に大きく影響を受けていることが考えられる。
- 本指標項目において目標値を達成するためには、不満の具体的な内容を特定してその不満内容を解消することが求められる。アンケート調査における具体的な不満内容についての自由記述からは、山小屋に対しての不満内容は多く挙げられており、不満コメントのうちの21.9%（208コメント）を閉めている。特に登山者による混雑、同混雑に起因する山小屋内、特に寝室の空間の狭さ、そして山小屋職員の対応（ホスピタリティ）に対する指摘が多い。また、トイレについては137の不満コメントが挙げられており（不満コメントのうちの14.5%）、トイレの設置箇所数と清潔さに対する指摘が多い。すべてそのまま解決につなげられるものではないと思われるが、指標の目標値達成のために出来る対応を関係者と協議しながら検討していく必要がある。
- 他指標項目同様、本指標項目も引き続きアンケート調査を通じてモニタリングし、目標値の達成を目指していくべき項目であると考えられる。

図表 山小屋に不満を感じた登山者（とても不満）の割合（1／2）

山小屋	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	目標値
指標値		14.8%	16.5%	21.9%	20.2%	15%以下

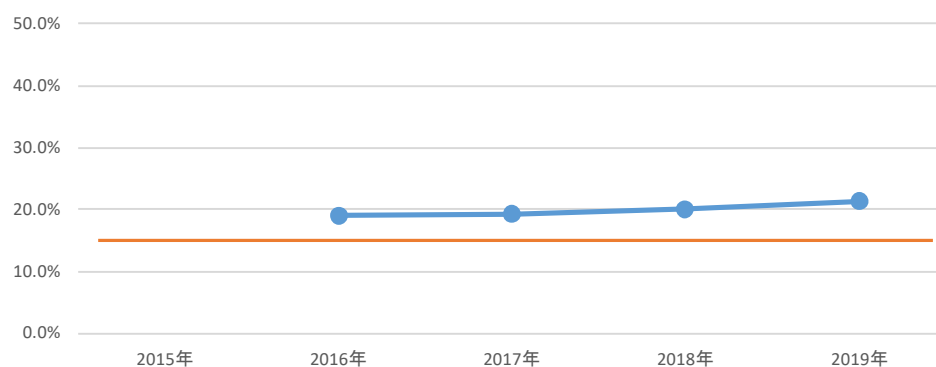


図表 山小屋に不満を感じた登山者（とても不満）の割合（2／2）

山小屋		吉田口	須走口	御殿場口	富士宮口	計
2015	第1回					
	第2回					
	第3回					
	第4回					
	第5回					
	計					
2016	第1回	13.7%	16.2%	7.5%	15.4%	14.3%
	第2回	7.6%	10.4%	0.0%	10.7%	8.5%
	第3回	15.0%	13.6%	6.5%	15.6%	14.3%
	第4回	15.2%	16.6%	5.6%	11.4%	13.7%
	第5回	21.6%	24.2%	11.1%	20.2%	20.8%
	計	15.3%	16.6%	6.8%	15.0%	14.8%
2017	第1回	13.2%	13.0%	13.5%	22.4%	15.6%
	第2回	21.2%	19.1%	7.5%	16.0%	17.9%
	第3回	14.2%	18.8%	8.7%	7.5%	13.2%
	第4回	15.3%	23.8%	5.9%	21.7%	16.8%
	第5回	17.4%	14.4%	8.1%	17.5%	15.9%
	第6回	16.6%	11.7%	6.7%	28.7%	18.4%
	計	16.4%	15.1%	9.5%	20.4%	16.5%
2018	第1回	15.4%	11.1%	0.0%	25.5%	19.4%
	第2回	25.0%	32.0%	12.5%	23.3%	24.2%
	第3回	18.0%	16.7%	0.0%	27.1%	20.6%
	第4回	23.0%	35.7%	0.0%	23.5%	24.3%
	第5回	18.9%	18.8%	18.2%	26.8%	21.0%
	第6回	16.7%	34.8%	15.4%	28.6%	23.7%
	不明	20.0%	0.0%	-	20.0%	15.8%
	計	19.6%	23.9%	10.5%	25.7%	21.9%
2019	第1回	15.5%	12.5%	18.2%	31.6%	20.9%
	第2回	17.4%	27.3%	0.0%	11.7%	15.2%
	第3回	24.0%	22.9%	11.1%	16.1%	19.5%
	第4回	20.0%	3.7%	12.5%	37.2%	24.0%
	第5回	19.3%	13.6%	18.5%	21.9%	20.1%
	第6回	20.6%	34.8%	7.7%	20.9%	21.4%
	計	19.8%	19.0%	13.0%	22.2%	20.2%

図表 トイレに不満を感じた登山者（とても不満）の割合（1／2）

トイレ	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	目標値
指標値		19.1%	19.3%	20.1%	21.4%	15%以下



図表 トイレに不満を感じた登山者（とても不満）の割合（2／2）

トイレ		吉田口	須走口	御殿場口	富士宮口	計
2015	第1回					
	第2回					
	第3回					
	第4回					
	第5回					
	計					
2016	第1回	20.2%	19.6%	27.6%	15.3%	19.1%
	第2回	13.5%	9.8%	14.3%	10.9%	12.1%
	第3回	23.0%	17.0%	27.1%	18.1%	20.6%
	第4回	17.8%	18.2%	33.3%	16.0%	18.8%
	第5回	23.7%	27.4%	28.6%	14.1%	21.8%
	計	20.3%	19.1%	27.5%	15.3%	19.1%
2017	第1回	19.7%	16.5%	29.4%	15.3%	19.7%
	第2回	17.4%	9.6%	36.2%	15.4%	18.4%
	第3回	12.2%	15.6%	13.0%	11.6%	12.7%
	第4回	13.8%	30.4%	11.1%	22.2%	17.1%
	第5回	15.9%	24.8%	26.9%	16.1%	18.9%
	第6回	25.0%	22.5%	18.9%	24.5%	24.0%
	計	18.1%	19.9%	26.6%	17.7%	19.3%
2018	第1回	29.1%	26.3%	40.9%	22.6%	26.7%
	第2回	20.6%	11.5%	31.3%	24.1%	21.7%
	第3回	15.4%	19.0%	40.0%	13.5%	16.1%
	第4回	9.4%	28.6%	0.0%	29.4%	17.5%
	第5回	22.0%	21.6%	21.1%	13.6%	19.6%
	第6回	13.6%	8.7%	14.3%	25.4%	17.3%
	不明	10.0%	25.0%	-	0.0%	10.5%
	計	18.3%	18.8%	28.2%	21.1%	20.1%
2019	第1回	18.3%	12.5%	16.7%	14.6%	16.5%
	第2回	14.9%	27.3%	25.0%	6.3%	13.3%
	第3回	15.3%	10.3%	40.0%	20.0%	18.8%
	第4回	17.9%	32.3%	20.0%	27.9%	23.9%
	第5回	20.6%	9.7%	21.2%	30.3%	24.4%
	第6回	21.9%	25.0%	38.9%	26.9%	25.5%
	計	18.4%	18.8%	27.2%	23.6%	21.4%



## (2) 外国語調査の結果を反映した指標の検討

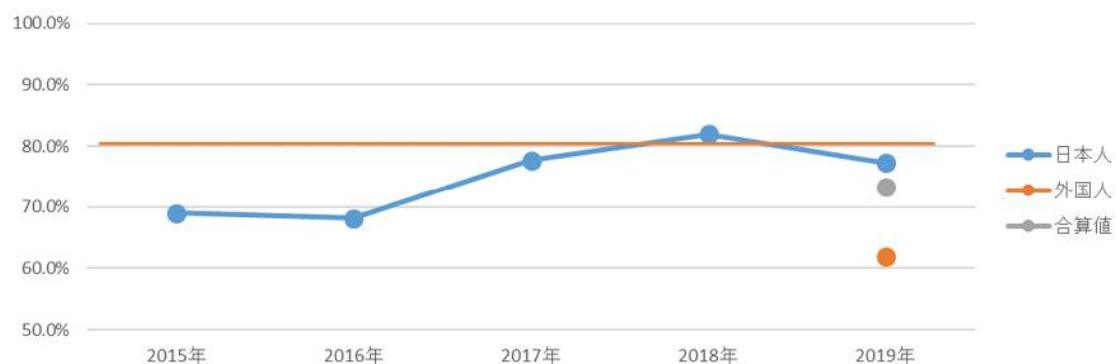
- これまで指標の値については、日本人登山者を対象に計測・モニタリングを実施してきた。それは、2019年の指標の値においても同様である。
- しかし一方で、近年は外国人登山者の割合も増加傾向にあることが想定されており、今後の検討のための材料として、外国語調査の結果を反映させた際の指標値について次頁以降に示す。
- 今回、外国語調査のデータの反映方法は、日本語サンプル・外国語サンプルのいずれも重み付け等の操作は行わず、全回収データを対象に足し合わせて集計を行った(日本語サンプル1493票、外国語サンプル584票)。
- 外国語調査と日本語調査では、一部設問でほぼ同様の回答結果が得られた一方、回答結果の傾向の異なる設問が多く確認された。
- 外国語調査と日本語調査でほぼ同様の結果が得られた設問としては、「文化的伝統の認知度」、「神聖さを感じた割合」、「混雑感」が挙げられる。
- 一方で、「混雑における許容度」については、登山道の混雑を許容できない割合が外国語調査でやや高くなっている。また、外国語調査の方が、「危険を感じなかった」人の割合が多く、「ゴミを見かけた」人の割合は低くなっている。また、全体的に「満足度」が高い傾向もみられている。
- 日本語調査と外国語調査の手法に関する記述は次項(3)にまとめた。
- 指標に外国語調査の結果を含めるかどうかについては、富士山の登山者全体における外国人登山者の割合が一定以上に高まってきたことを踏まえれば、外国語調査の結果も加えて継続的なモニタリングをしていくことが本来は望ましいと考えられる。ただし次項(3)でも述べる通り、外国語調査の実施にはコストが多くかかるため、調査の継続を現実的に考えた際には、登山者数全体における外国人登山者の割合を注視しつつ、外国語調査は数年に一度程度の実施していく形が現時点では望ましいと考える。
- また、データの継続性の観点から外国人調査を実施した際においても、単純に日本語調査を足し上げた結果のみを示すことはせず、日本語調査、外国語調査、合算値はそれぞれ示すべきである。

① 伝統的な登拝の登山形態と同様に、山小屋で休息してから山頂で御来光を拝む登山者の割合

- ・ 本指標の2019年における値は、日本語調査では「77.3%」、外国語調査では「61.9%」となった。当年の指標値である77.3%に対して、両調査の合算値は73.2%で、目標値の80%以上に対して、より値が離れてしまう結果となった。

表 伝統的な登拝の登山形態と同様に、山小屋で休息してから山頂で御来光を拝む登山者の割合

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	目標値
日本人	69.0%	68.2%	77.7%	82.0%	77.3%	80%以上
外国人					61.9%	80%以上
合算値					73.2%	80%以上



② 山麓の神社や湖などを巡ったのちに富士登山をする文化的伝統を知っている登山者の割合

- ・ 本指標の 2019 年における値は、日本語調査では「43.1%」、外国語調査では「47.4%」となり、その差は 5%以内に収まった。当年の指標値である 43.1%に対して、両調査の合算値は 44.3%で、ほぼ値が動かない結果となった。

表 山麓の神社や湖などを巡ったのちに富士登山をする文化的伝統を知っている登山者の割合

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	目標値
日本人	32.9%	39.0%	47.0%	38.6%	43.1%	50%以上
外国人					47.4%	50%以上
合算値					44.3%	50%以上

